

# 愛知県がんセンター 概 要

令和6年度



# 基本理念

私たちは患者さんの立場にたって、最先端の研究成果と根拠に基づいた最良のがん医療を提供します。

The mission of Aichi Cancer Center is to provide patients suffering from cancer with compassionate care and the best treatment based on evidence and leading-edge cancer research.

## 基本方針

1. 患者さんの権利と尊厳を守る医療を実践します。
2. 高度な医療安全管理体制のもと、根拠に基づいた良質で高度な医療を提供します。
3. 情報を開示し、医療の透明性と信頼性を保ちます。
4. がんの予防・診断・治療の技術革新を目指した高度な医療技術の研究開発を推進します。
5. 教育と研修を充実し、高度ながん医療・研究を担う人材を育成します。
6. 愛知県がん診療連携拠点病院として地域と連携し、がん医療の普及と向上に努めます。
7. がん医療の実践、研究開発、啓発を通じて、愛知県から国際社会へ貢献します。

## 患者さんの権利と病院からのお願い

愛知県がんセンターは、がん専門の特定機能病院として、最先端で最良のがん医療をみなさんに提供することを使命としています。

ここに、「患者さんの権利と病院からのお願い」を明らかにし、患者さんと病院職員とがお互いに信頼感を持ち、協力してがんに立ち向かうことを宣言します。

### 患者さんの権利

1. 年齢、性別、障害の有無にかかわらず、誰でも良質で安全な医療を平等に受ける権利があります。
2. いかなる状況でも、人格が尊重され、尊厳が保障される権利があります。
3. 十分な説明による理解のもとに、自らが受ける治療に対して意思決定をする権利があります。
4. 自らが受けている医療について、すべてを知る権利があります。
5. すべての個人情報保護される権利があります。
6. 診断や治療方針について、他の医療機関の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります。

### 病院からのお願い

1. 快適な療養環境を維持するため、病院の規則をお守りください。
2. ご自分の病状や健康状態を医療従事者に正確にお伝えください。
3. 他の患者さんの迷惑になる行為や診療の妨げになる行為は慎んでください。
4. 診療費は速やかにお支払いください。
5. 病院職員と連携して、医療事故の防止にご協力ください。
6. 将来のがん医療を担う医療従事者の教育・研修にご協力ください。
7. がん医療の発展のため、臨床研究にご協力ください。

# 目 次

目 的 .....	2
沿 革 .....	2
設置の根拠 .....	3
施設の概要 .....	3
所在地 土地・建物 病院 研究所	
組織と職員定数 .....	8
組織 役職者一覧表 職種別・職員定数一覧表	
管理業務 .....	10
会計予算 経営状況 がん患者状況 レジデント履修状況等	
主な備品・設備 .....	19
備品 附属施設	
病院業務 .....	20
診療科目等 外来診療の流れ 患者状況 治療・検査件数等	
研究業務 .....	29
重点プロジェクト研究課題等	
類似病院との比較 .....	32
外来診療案内・入院案内 .....	33
交通案内 .....	34

# 目 的

がんの根本的な制圧のためには、その実態を究明して積極的な予防策を講ずるとともに、早期に適切な診断と治療を行わなければならない。これらのがん対策を推進するためには、がんの基礎的研究部門からはじまる幅広い研究活動と、がんに対する高度な診断・治療の実施のほか、専門技術者の養成や診断技術の普及も必要なことである。

このため国は、昭和37年、東京に国立がんセンターを設置したが、これと呼応して愛知県においても、この種の専門施設の少ない東海地方に病院と研究所を併有した愛知県がんセンターを設置し、がん制圧の重要な拠点とすることにした。

# 沿 革

昭和36年 1月12日	愛知県がん対策協議会に対し、知事から「悪性新生物の予防及び治療対策」について諮問
昭和36年 6月19日	同協議会から知事に対し「がん対策の拠点となる、がんセンターを早急に設置する必要がある」旨答申があり、がんセンターの設置を決定
昭和39年12月 1日	業務開始【病床数333床（特別病床32、一般病床269、術後回復病床24、ラジウム病床8）】
昭和44年 3月31日	病床22床増床（特別病床）
昭和58年11月22日	診療管理棟竣工
昭和63年 8月31日	生物工学総合実験棟竣工
平成 3年12月20日	特殊放射線・診療棟竣工
平成 4年 2月29日	病棟竣工
平成 4年 5月18日	新病院棟業務開始【病床数500床（特別病床80、一般病床393、特殊病床27）】
平成 6年 3月18日	国際医学交流センター・外来棟竣工
平成 6年 5月24日	国際医学交流センター・外来棟業務開始
平成 7年 6月30日	立体駐車場竣工
平成 9年 3月20日	研究所代替施設改修工事竣工
平成12年 3月10日	特定承認保険医療機関 承認
平成14年 1月11日	新研究所棟竣工
平成14年 2月 7日	（名称変更）新研究所棟→研究所棟本館、診療管理棟→研究所棟北館
平成14年 4月 1日	臨床研修病院の指定
平成14年 8月13日	地域がん診療拠点病院の指定
平成16年 4月 1日	地方公営企業法の全部適用
平成17年 4月 1日	愛知病院（岡崎市、病床数306床）を統合
平成18年 9月21日	医療法人名古屋放射線診断財団とPET-CT検査診療所整備運営等に関する基本協定書締結
平成19年 1月31日	都道府県がん診療連携拠点病院の指定
平成22年10月 1日	尾張診療所（一宮市）開設
平成25年 7月 1日	外来化学療法センター開設
平成26年 3月31日	尾張診療所（一宮市）閉所
平成26年 4月 1日	地域医療連携・相談支援センター / 緩和ケアセンター開設
平成28年10月 1日	サルコマーセンター開設
平成29年 4月 1日	個別化医療センター開設
平成30年 4月 1日	リスク評価センター開設
平成31年 3月28日	がんゲノム医療センター開設
平成31年 4月 1日	愛知病院が岡崎市へ移管
平成31年 4月 1日	都道府県がん診療連携拠点病院の更新
令和元年 9月19日	がんゲノム医療拠点病院の指定
令和 2年 7月 3日	病院機能評価「一般病院3」の認定（機能種別版評価項目 3rdG.ver2.0） 認定期間：令和元年 9月27日～令和 6年 9月26日
令和 3年 5月24日	愛知県がんセンター名古屋空港ターミナルビル診療所を開設
令和 4年 4月 1日	個別化医療センター、リスク評価センター、がんゲノム医療センターを統合し、ゲノム医療センターを開設
令和 4年12月 1日	特定機能病院として承認
令和 5年 3月25日	愛知県がんセンター名古屋空港ターミナルビル診療所を閉所
令和 5年 4月 1日	都道府県がん診療連携拠点病院の更新
	がんゲノム医療拠点病院の更新
令和 6年 4月 1日	都道府県がん診療連携拠点病院の更新

# 設置の根拠

設立当初・愛知県がんセンター条例（昭和39年条例第60号）運用部、病院、研究所の3部門を設置  
 現 在・愛知県病院事業の設置等に関する条例（昭和41年条例第36号）

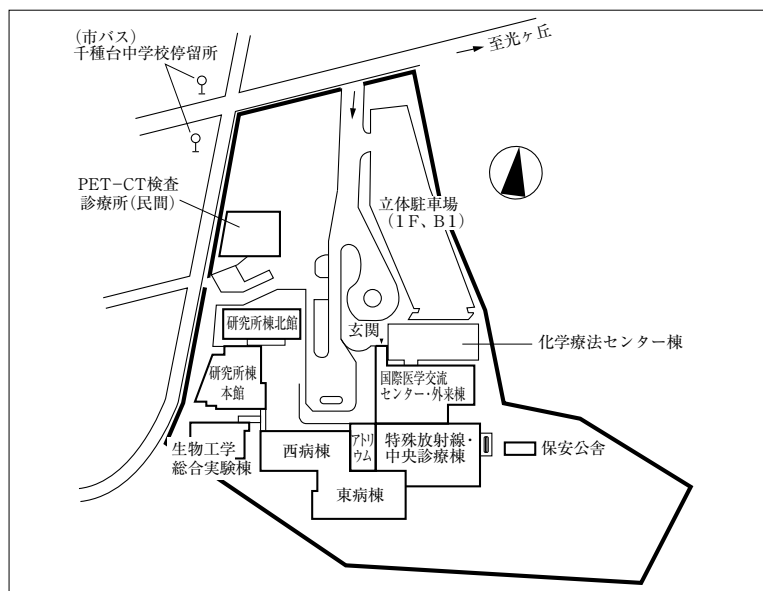
業務の内容

- ア 悪性新生物に関する予防、診断及び治療を行うこと
- イ 悪性新生物に関する予防、診断及び治療についての臨床研究、調査及び研究開発を行うこと
- ウ 悪性新生物に関する技術者及び研究者の研修を行うこと
- エ 悪性新生物に関する調査及び研究開発を行う者に施設を利用させること

# 施設の概要

所在地 名古屋市千種区鹿子殿1番1号

(令和6年4月1日現在)



# 土地・建物

(令和6年4月1日現在)

区 分	構 造 ・ 規 模	延 床 面 積	
土 地		49,788.56 m <sup>2</sup>	
建 物	合 計	69,580.13 m <sup>2</sup>	
	病 棟	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上9階 搭屋2階	28,662.79 m <sup>2</sup>
	特殊放射線・中央診療棟	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上5階	12,274.96 m <sup>2</sup>
	国際医学交流センター・外来棟	鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上3階	7,203.43 m <sup>2</sup>
	化学療法センター棟	鉄骨造一部鉄筋コンクリート造 地下1階 地上2階	1,992.92 m <sup>2</sup>
	研 究 所 棟 本 館	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上6階	7,112.72 m <sup>2</sup>
	研 究 所 棟 北 館	鉄筋コンクリート造 地下1階 地上3階 搭屋1階	3,244.43 m <sup>2</sup>
	生物学工学総合実験棟	鉄筋コンクリート造 地下1階 地上3階 搭屋1階	2,116.03 m <sup>2</sup>
	保 安 公 舎	鉄筋コンクリート造 地上3階	313.92 m <sup>2</sup>
	立 体 駐 車 場	鉄筋コンクリート造2層建	6,312.07 m <sup>2</sup>
そ の 他	危険物倉庫・ごみ集積場・保管庫等	346.86 m <sup>2</sup>	

# 病 院

(令和6年4月1日現在)

## (東) 病 棟 (西)

内 容		病床数	階別	内 容	病床数	
機械室			塔屋	機械室		
特別病棟 (混合)		25床	9階	特別病棟 (混合)	25床	
特別病棟 (混合)		30床	8階	一般病棟 (薬物療法科、頭頸部外科、整形外科 治験、緩和ケア(緊急))	52床	
一般病棟 (消化器内科・消化器外科・薬物療法科)		51床	7階	一般病棟 (消化器外科・消化器内科 薬物療法科)	52床	
一般病棟 (呼吸器内科、泌尿器科、感染症病床)		51床	6階	一般病棟 (血液・細胞療法科、泌尿器科、放射線診断科、IVR科、呼吸器内科、治験)	51床	
空調機械室	小線源病棟 (放射線治療科) (4床) 一般病棟 (頭頸部外科、脳神経外科) (48床)	52床	5階	一般病棟 (女性専用) (乳腺科、婦人科 他全科)	51床	
手術部門、輸血部門		ICU病棟	8床	4階	一般病棟 (呼吸器外科、呼吸器内科、薬物療法科、治験)	52床
臨床検査部門		アイソトープ検査部門 管理部門(看護部)等		3階	管理部門 (総長室、病院長室等)	
放射線診断・IVR部門		内視鏡部門 生理検査部門		2階	管理部門 (医局等)	
中央滅菌材料室、供給部門		憩いのフロア、アトリウム (食堂、売店等)		1階	入院受付 管理部門 (運用部等)	
放射線治療部門、電気室		栄養管理部門		地階	中央監視室、熱源機械室	

(病床合計 500床)

## 国際医学交流センター・外来棟

階 別	内 容
3階	外科系診察室、臨床検査部門 (一部)、外来手術室・処置室等
2階	総合案内、外来受付、予約受付、内科系診察室、地域医療連携・相談支援センター/緩和ケアセンター、薬剤部門 (薬局受付等)、会計等
1階	国際医学交流センター (メインホール、大会議室、視聴覚室等)
地階	薬剤部門 (供給室等)、カルテ・フィルム庫

## 化学療法センター棟

階 別	内 容
2階	外来化学療法センター
1階	臨床試験部門
地階	薬剤部門 (ミキシング室等)

## 乳腺科部

乳腺科部では、乳がんの診断から周術期薬物療法、手術、再発治療、緩和医療、遺伝性乳がん診療まで、一貫した乳がん診療を行っている。乳がんは増え続けており、治療も高度かつ複雑化し専門性が高くなっている。個々の乳がんの特性に応じた個別化治療、患者さんごとの背景やニーズを考慮した最適な治療を提供することができるよう、チームで診療を行っている。令和5年度は450件以上の原発性乳がん手術を実施した。腋窩郭清手術省略のためのTAS (tailored axillary surgery) や温存手術時の整容性向上のためSuture Scaffold Techniqueといった新しい手技にも取り組んでいる。また以前より、乳房の同時再建手術、リスク低減乳房切除術なども実施している。薬物療法では、科学的有効性が確立した標準治療を提供するだけでなく、適格基準にあう場合には治験への参加をご提案している。こうしたがんセンターでの集中的な治療が終了し、治療内容が安定した場合には、連携パスを用いて地域の先生方と医療連携を行っている。



## 臨床試験部 (介入研究支援室・観察研究支援室・試験支援室)

臨床試験部は、2017年5月に設置された。試験支援室、および介入研究支援室の2部門から構成されている。試験支援室は、受託研究以外の臨床試験の申請業務、および特定臨床研究を審査する認定臨床研究審査委員会等の委員会の運営業務を担当している。

介入研究支援室は、3部門から構成され、受託研究以外の臨床研究の支援部門は、医師主導で実施される倫理指針遵守の臨床研究および特定臨床研究の支援業務を主に行っている。2つ目は、観察研究支援部門で、主に多施設共同の観察研究の支援を行っている。3つ目は、受託研究の支援部門で、医薬品や医療機器の承認申請目的で実施される治験の支援、および治験審査委員会の運営を行っている。

臨床試験部は、医学系研究の適切な実施を支援することで、新しい治療法や薬剤を患者さんに提供することを使命としている。

## ゲノム医療センター

ゲノム医療センターは、主に腫瘍細胞に生じた遺伝子異常を検査・同定し治療を行うがんゲノム医療室と、生殖細胞系列異常を検査・同定しがん発症のリスク評価および遺伝カウンセリング等を行うリスク評価室より構成されている。ゲノム医療センターは、当院ががんゲノム医療拠点病院として行う包括的遺伝子プロファイリング検査の窓口として、院内はもとより東海地域からの紹介患者さんに対応している。包括的遺伝子プロファイリング検査の実施に当たっては、医師による説明に加え常勤のがん医療ゲノムコーディネーターが対応することで分かりやすい説明を心がけるとともに、検査結果については、多職種により構成されるエキスパートパネルを開催し、最適な医療を提供できるよう取り組んでいる。リスク評価室では、包括的遺伝子プロファイリング検査や各診療科で同定された生殖細胞系列異常に対応するとともに、早期からの遺伝性腫瘍のスクリーニング実施など、独自の取り組みも行っている。これらの取り組みにより、ゲノム医療センターとして、がん患者さんの予防から治療まで関与できることを目指している。



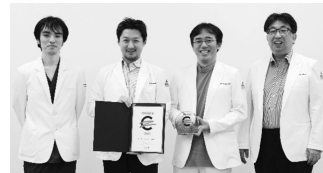
## 先進医療

先進医療とは、その有効性及び安全性を確保する観点から、医療技術ごとに一定の施設基準を設定し、施設基準に該当する保険医療機関は届出により保険診療との併用ができることとした制度である。

愛知県がんセンターでは、令和6年4月1日現在、「術後のアスピリン経口投与療法 下部直腸を除く大腸がん (ステージがⅢ期であって、肉眼による観察及び病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。)」を始め5種類の医療技術について提供している。

## 新しい臨床試験手法～分散型試験とプラグマティック試験

分散型臨床試験 (リモート試験、オンライン試験) は、当院実施中の治験に、オンライン診療や薬剤の直接配送を取り入れることで、直接来院することなく参加できる取り組みである。2022年5月よりALK融合遺伝子陽性固形がんを対象としたブリグチニブの多施設共同第Ⅱ相バスケット試験 (WJOG15221M) に導入し、埼玉、富山、岡山、鹿児島など全国の患者さんがオンライン治験として参加している。



プラグマティック (実用的) 臨床試験は、実際の医療現場に近い条件下で行う臨床試験である。従来の臨床試験よりも患者選択基準・治療介入遵守の緩和、収集項目の簡素化が図られる。2023年12月より、全国約250施設の協力のもと、大腸がんに対するトリフルリジン・チピラシル+ベバシズマブ療法の従来法と隔週法の比較第Ⅲ相試験 (PRABITAS 試験) を開始している。

いずれも、抗がん薬領域では日本初の取り組みであり、プレスリリースの後に大きな反響を呼んでいる。これら新しい手法を用いた効率的な治療開発を推進し、新しい治療を患者さんにいち早く届けられるように取り組んでいる。

## IVR-CT

2021年10月にIVR-CT 1台が更新された。IVR-CTは血管撮影装置とCT装置が一体型となったシステムであり、患者さんが撮影室間を移動することなく、血管造影検査、CT検査、IVRを迅速かつ安全に行うことができる複合装置である。

1992年にIVR-CTが世界で初めて当院に導入され、現在2台のIVR-CTで、肝細胞癌や転移性腫瘍に対するTACEなどのカテーテル治療、組織診断や遺伝子診断のために画像誘導で行う生検、病巣に直接穿刺し治療を行うラジオ波治療、各種ドレナージなどIVR全般に使用している。更新されたシステムは、動画対応血管撮影装置として画素サイズ76 $\mu$ mの高分解能画像を実現、最新のアプリケーションやワークステーションを整備し、より効率的に手技を進めることが可能となった。CT装置は320列面検出器を搭載し、最大ビーム幅160mmのVolume透視・撮影を実現、AI技術の一つであるディープラーニング技術を応用した画像再構成技術で、ノイズの少ない高品質画像の取得と低侵襲検査の両立が可能となった。(図1・2)

これにより、検査時間の短縮、検査効率、診断・治療精度の向上、患者さんおよび術者の被ばく低減が可能となり、当院における高度なIVRを実現できるものと考えている。

## IVR (Interventional Radiology) : 画像下治療



図1・2

# 研究所

(令和6年4月1日現在)

## 研究所棟本館

	フロア	南	北	フロア		
生物工学総合実験棟	6階	電気室	空調機械スペース	6階	研究所棟北館	
	5階	(腫瘍免疫応答研究分野)	腫瘍免疫制御TR分野	5階		
	4階	分子診断TR分野	腫瘍制御学分野	4階		空調機械スペース
	3階	がん標的治療TR分野	がん病態生理学分野	3階		所長室 セミナー室 がん情報・対策研究分野 システム解析学分野 がん予防研究分野 他
	2階	がん予防研究分野 がん情報・対策研究分野	分子腫瘍学分野	2階		図書室 共通機器室 小会議室 レジデント室 他
	1階	共通機器室	共通機器室実験室	1階		電算機室 保育所 他
地階	熱源機械室	実験動物飼育・実験室 その他	地階	電気室 その他		

平成14年1月に竣工した研究所棟本館は、地下1階地上5階（一部6階）、総床面積7,113㎡である。動物実験施設が設置され、免疫能の低い特殊なマウスや遺伝子改変マウスを用いた実験が行われている。1階には共通機器室の機器室・実験室、RI実験室が置かれている。2階から5階には9つの分野の研究室と、各フロア共同のRI実験室や材料保存室、暗室が設置されている。

研究所棟北館は地下1階地上3階、総床面積3,244㎡で、所長室等の管理部門、3つの分野の研究室、共通機器室、がん登録室、図書室、セミナー室、電算

機室などが設置され、平成26年4月からは保育所も開設されている。

生物工学総合実験棟は、地下1階地上3階、総床面積2,116㎡の共同利用特殊実験棟として、昭和63年に完成した。1階、2階は、平成29年度に改修され、1階にはキャンサーバイオバンク愛知のフリーザー室、共通機器室、看護学生研修室、会議室が整備された。2階には、従来からある共通機器室管理室に加えて、同バイオバンクの作業室、病院医局が整備された。3階は、令和元年度に大規模な改修が行われ、2つの分野の研究室が整備された。





## 1. 自動電気泳動システム

細胞や組織から抽出したDNA およびRNA の品質を調べる装置である。DNA やRNA は抽出後、次世代シーケンサーやマイクロアレイなどにかげられ、解析が行われるが、その元となるDNA、RNA の品質は解析の精度に影響するため、それらの品質を管理することは重要である。本装置の専用の解析ソフト、試薬を用いることで、簡便かつ正確にDNA、RNA の品質を調べることが可能となる。



## 2. ライブセルイメージングサイトメータ

ライブセルイメージングサイトメータは、各種蛍光試薬による染色、標識を行った細胞の蛍光顕微鏡画像を取得し、その画像から得られる細胞個々の情報を数値化することで、細胞集団の様子を客観的に評価できる装置である。プレートから細胞を剥ぎ取ったり、1細胞ずつばらばらにする必要がなく、細胞形態を維持したまま測定できる。また、細胞増殖・形態の時系列変化を解析することが可能である。



## 3. スライドスキャナ

スライドスキャナは、病理組織標本のスライドガラスを高速でスキャンして、高精細で定量性の高いデジタル画像を取得する装置である。多数のスライドガラスを高速で自動処理することができる。デジタルデータが得られるため、染色結果の経年劣化を回避できるだけでなく、数値化も容易となり、さらに研究者間でデータを共有することも容易である。



## 4. 高圧蒸気滅菌装置

がん研究において、動物実験は重要な手法の一つとなっている。マウスなどの実験動物は、免疫力が弱いものも多く、感染症のまん延は禁忌である。そのため、使用する器具、飼料はすべて滅菌した後、動物実験室に搬入する必要がある。本装置は、これらを高圧蒸気で滅菌する装置である。大量に滅菌するため、本体は、人が出入りできるぐらいの非常に大型の機器である。



# 組織と職員定数

組 織 (令和6年4月1日現在)



# 役職者一覧表

(令和6年5月1日現在)

役職名		氏名	備考	役職名		氏名	備考
総 運用部	長	丹羽康正		病 院	循環器科部長	欠	
	運用部長	横井満			感染症内科部長	欠	
	管理課長	稲吉久恵			緩和ケア部長	下山理史	
	経営戦略課長	田代一夫			精神腫瘍科部長	小森康永	
病 院	病院長	山本一仁		看護部長	山崎祥子	副院長(兼)	
	副院長	清水泰博		薬剤部長	内田幸作		
		室圭		臨床薬剤部長	加藤正孝		
		花井信広		栄養管理部長	田近正洋	内視鏡部長(兼)	
		山崎祥子		医療安全管理部長	室圭	副院長(兼)	
	消化器内科部長	原和生		感染制御部長	藤原正豊	呼吸器内科部長(兼)	
	内視鏡部長	田近正洋		臨床試験部長	安藤正志		
	呼吸器内科部長	藤原豊		医療情報管理部長	欠		
	血液・細胞療法部長	楠本茂		外来化学療法センター長	室圭	副院長(兼)	
	薬物療法部長	室圭	副院長(兼)	希少がん・サルコマセンター長	筑紫聡	整形外科部長(兼)	
	臨床検査部長	欠		ゲノム医療センター長	衣斐寛倫	がん標的治療トランスレーショナルリサーチ分野長(兼)	
	遺伝子病理診断部長	細田和貴		地域医療連携・相談支援センター長	清水泰博	副院長(兼)	
	輸血部長	楠本茂	血液・細胞療法部長(兼)	緩和ケアセンター長	下山理史	緩和ケア部長(兼)	
	頭頸部外科部長	花井信広	副院長(兼)	研 究 所	研究所長	井本逸勢	
	形成外科部長	高成啓介			副所長	関戸好孝	
	呼吸器外科部長	坂倉範昭			副所長	青木正博	
	乳腺科部長	原文堅			がん情報・対策研究分野長	伊藤秀美	
	消化器外科部長	清水泰博	副院長(兼)		がん予防研究分野長	松尾恵太郎	
	整形外科部長	筑紫聡			分子遺伝学分野長	欠	
	リハビリテーション部長	吉田雅博			がん病態生理学分野長	青木正博	副所長(兼)
泌尿器科部長	小島崇宏		分子腫瘍学分野長		関戸好孝	副所長(兼)	
婦人科部長	鈴木史朗		システム解析学分野長		山口類		
脳神経外科部長	大野真佐輔		腫瘍制御学分野長		小根山千歳		
麻酔科部長	仲田純也		腫瘍免疫応答研究分野長	欠			
集中治療部長	小森康吉		腫瘍免疫制御トランスレーショナルリサーチ分野長	松下博和			
放射線診断部長	稲葉吉隆		分子診断トランスレーショナルリサーチ分野長	田口歩			
放射線IVR部長	佐藤洋造		がん標的治療トランスレーショナルリサーチ分野長	衣斐寛倫	ゲノム医療センター長(兼)		
放射線治療部長	古平毅		個別化医療トランスレーショナルリサーチ分野長	欠			
外来部長	堀尾芳嗣		共通機器室長	青木正博	副所長(兼)		
手術部長	伊藤誠二		バイオバンク部門長	松尾恵太郎	がん予防研究分野長(兼)		

# 職種別・職員定数一覧表

(令和6年4月1日現在)

職種別	部門別	総数	運用部	病院	研究所
総	数	781	33	695	53
事	務	39	32	7	
医療社会事業員		2		2	
医	師	161	1	131	29
歯科医	師	2		1	1
理学士・研究員		13		1	12
診療放射線技師		30		30	
理学療法士		5		5	
言語聴覚士		1		1	
作業療法士		1		1	
薬剤師		38		38	
臨床検査技師		32		31	1
臨床工学技士		7		7	
看護師		403		403	
看護助手		0		0	
栄養士		3		3	
歯科衛生士		1		1	
その他給食関係職員		12		12	
臨床試験コーディネーター		14		14	
遺伝カウンセラー		3		3	
診療情報管理士		4		4	
研究補助		10			10

# 管理業務

## 会計予算

(収益の収入支出)

(単位 千円)

(款) 項	目	金 額	
		令和5年度当初予算	令和6年度当初予算
(事業収益)		26,681,516	28,312,088
医業収益		23,342,273	25,097,502
	入院収益	10,954,866	11,849,022
	外来収益	10,066,851	10,502,735
	一般会計負担金	1,080,515	1,313,129
	その他医業収益	1,240,041	1,432,616
医業外収益		3,339,243	3,214,586
	受取利息配当金	1	1
	一般会計負担金	1,769,382	1,665,319
	一般会計補助金	53,910	1,395
	国庫補助金	33,649	33,946
	長期前受金戻入	133,099	113,674
	資本費繰入収益	675,339	629,314
	その他医業外収益	673,863	770,937
特別利益	特別利益	0	0
(事業費用)		26,346,583	27,458,656
医業費用		26,110,631	27,199,460
	給与費	9,466,010	9,995,273
	材料費	10,873,171	11,175,047
	経費	3,428,686	3,502,101
	減価償却費	1,420,896	1,474,032
	資産減耗費	27,676	35,632
	研究研修費	894,192	1,017,375
医業外費用		230,952	254,196
	支払利息・金債諸費	46,087	48,956
	長期前払消費税償却	73,802	76,991
	雑損失	7,001	8,001
	消費税及び地方消費税	104,062	120,248
特別損失		0	0
予備費	予備費	5,000	5,000
差引損益		334,933	853,432

## (資本的収入支出)

(単位 千円)

(款)項	目	金額	
		令和5年度当初予算	令和6年度当初予算
(資本的収入)		1,565,537	2,005,226
企業債	企業債	765,190	1,250,910
国庫支出金	国庫補助金	0	0
他会計負担金	一般会計負担金	654,937	608,294
他会計補助金	一般会計補助金	0	0
雑収入	雑収入	145,410	146,022
(資本的支出)		2,166,080	2,654,257
建設改良費		166,279	46,970
	建設費	0	0
	改良費	166,279	46,970
資産購入費		1,151,220	1,736,009
	医療器械購入費	748,966	1,353,812
	備品購入費	50	50
	リース債務費	402,204	382,147
企業債償還金	企業債償還金	848,581	871,278
収 支		△ 600,543	△ 649,031

(注) 資本的収入額が資本的支出額に不足する額は過年度分の留保資金で充当する。

## 経営状況

(単位 千円・税抜き)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業収益	22,900,424	23,570,460	24,066,253	22,912,356	25,398,419	
内 訳	入院収益	8,979,954	8,748,638	8,575,384	8,332,581	9,774,368
	外来収益	9,286,069	9,430,326	8,875,168	9,088,114	10,298,438
	一般会計負担金	2,443,363	2,700,086	2,768,775	2,635,825	2,849,897
	その他	2,191,038	2,691,410	3,846,926	2,855,836	2,475,716
	特別利益	0	0	0	0	0
事業費用	22,807,287	23,069,283	23,051,059	23,948,783	25,075,023	
内 訳	給与費	8,533,312	8,771,115	9,036,220	9,155,811	9,131,758
	その他	14,273,975	14,298,168	14,004,589	14,468,105	15,943,265
	特別損失	0	0	10,250	324,867	0
純損益	93,137	501,177	1,015,194	△ 1,036,427	323,396	

# がん患者状況（院内登録）

## 年次別・部位別がん患者数（男女計）1964－2022

※平成8年までは、ICD9による集計

区分 (ICD10)	がんの部位 全部位 (C00~D09)	食道がん (C15)	胃がん (C16)	結腸がん (C18)	直腸がん (C19~C21)	肝臓がん (C22)	頭頸部のがん (C00~C14 C30~C32)	肺がん (C33,C34)	乳房がん (C50)	子宮がん (C53~C55 C58)	泌尿器のがん (C60~C68)	甲状腺がん (C73)	悪性リンパ腫 (C82,C84, C85,C96)	白血病 (C91~C95)	その他のがん
昭和39年(1964)	65	2	18	0	2	0	11	5	10	10	2	0	0	0	5
昭和40年(1965)	1,437	43	506	20	58	16	109	99	167	245	19	13	15	19	108
昭和41年(1966)	1,606	51	549	28	68	20	145	101	207	257	19	19	23	17	102
昭和42年(1967)	1,525	40	525	32	62	25	136	114	156	263	24	13	21	12	102
昭和43年(1968)	1,485	36	448	25	49	23	125	115	191	291	23	21	23	20	95
昭和44年(1969)	1,572	42	488	20	68	21	131	120	203	287	19	22	26	10	115
昭和45年(1970)	1,566	48	437	36	62	27	124	124	222	287	21	20	21	23	114
昭和46年(1971)	1,639	45	438	32	59	37	149	125	228	303	21	30	26	12	134
昭和47年(1972)	1,659	46	427	40	70	30	155	152	242	297	20	19	29	17	115
昭和48年(1973)	1,494	41	390	32	73	28	116	132	190	282	12	26	31	13	128
昭和49年(1974)	1,366	54	348	36	61	9	114	121	225	222	14	25	29	9	99
昭和50年(1975)	1,427	38	375	42	65	13	100	133	214	243	9	28	35	19	113
昭和51年(1976)	1,330	39	353	32	92	25	66	119	205	236	12	18	36	2	95
昭和52年(1977)	1,286	37	327	49	85	14	62	111	201	215	8	20	24	15	118
昭和53年(1978)	1,400	53	347	44	76	15	70	134	232	212	15	24	23	9	146
昭和54年(1979)	1,370	37	339	54	49	28	84	132	243	197	12	25	39	9	122
昭和55年(1980)	1,386	48	335	56	72	23	68	136	290	165	15	27	31	14	106
昭和56年(1981)	1,371	43	327	48	73	32	51	144	304	162	16	22	31	11	107
昭和57年(1982)	1,353	35	297	50	70	27	69	154	320	172	10	15	30	13	91
昭和58年(1983)	1,420	50	301	78	86	26	72	156	300	162	12	19	38	13	107
昭和59年(1984)	1,378	42	309	74	69	27	65	141	333	135	7	15	32	16	113
昭和60年(1985)	1,515	37	303	79	78	38	88	159	370	142	15	19	53	3	131
昭和61年(1986)	1,440	39	323	61	75	43	68	135	336	152	9	22	54	6	117
昭和62年(1987)	1,424	34	278	77	75	35	76	161	341	142	15	20	38	11	121
昭和63年(1988)	1,456	39	283	111	61	30	86	166	352	148	6	20	40	11	103
平成元年(1989)	1,287	33	277	68	55	32	86	157	275	141	7	28	34	10	84
平成2年(1990)	1,317	39	252	85	75	46	98	131	247	154	9	31	40	7	103
平成3年(1991)	1,298	39	225	100	73	40	67	141	283	168	6	22	36	10	88
平成4年(1992)	1,436	53	242	100	66	36	100	173	289	178	13	42	30	6	108
平成5年(1993)	1,547	52	278	128	79	66	93	190	318	145	14	28	44	9	103
平成6年(1994)	1,593	62	289	116	90	47	104	191	324	156	27	25	46	5	111
平成7年(1995)	1,545	53	260	124	79	51	115	188	306	107	65	25	42	4	126
平成8年(1996)	1,553	56	211	103	72	56	130	208	309	107	87	31	47	8	128
平成9年(1997)	1,684	48	247	115	69	66	152	227	318	134	73	28	42	12	153
平成10年(1998)	1,805	63	284	129	72	73	139	257	311	151	75	32	54	7	158
平成11年(1999)	1,889	72	260	103	86	65	144	288	383	115	83	31	50	11	198
平成12年(2000)	1,902	71	262	123	64	60	181	273	340	141	80	30	65	13	199
平成13年(2001)	2,070	121	261	140	103	59	170	309	352	162	83	44	61	11	194
平成14年(2002)	2,219	120	274	152	114	63	213	335	347	149	112	47	66	11	216
平成15年(2003)	2,297	124	276	161	118	61	207	326	327	160	149	51	78	8	251
平成16年(2004)	2,399	138	307	161	115	65	224	316	334	185	149	57	56	7	285
平成17年(2005)	2,645	163	331	173	169	81	236	347	379	196	144	45	65	11	305
平成18年(2006)	2,775	166	367	189	171	68	194	365	430	205	178	67	64	15	296
平成19年(2007)	2,841	178	359	177	181	75	220	359	424	175	205	66	45	20	357
平成20年(2008)	2,678	151	360	167	158	55	176	306	430	200	197	55	38	14	371
平成21年(2009)	2,971	167	320	166	161	85	265	400	439	263	232	56	36	22	359
平成22年(2010)	3,040	180	350	191	167	98	226	416	460	245	226	54	33	12	382
平成23年(2011)	3,040	182	329	175	156	77	263	412	498	208	226	59	38	15	402
平成24年(2012)	3,073	214	356	178	184	63	269	366	515	232	192	49	28	10	417
平成25年(2013)	3,078	187	333	182	158	65	296	389	536	221	193	64	30	15	409
平成26年(2014)	3,022	203	284	182	160	70	280	461	523	204	178	55	10	7	405
平成27年(2015)	3,108	169	337	187	186	66	286	482	495	170	216	50	2	5	457
平成28年(2016)	3,446	212	379	211	153	61	332	534	569	181	234	51	66	11	452
平成29年(2017)	3,613	245	363	212	188	69	308	546	578	188	238	58	89	12	519
平成30年(2018)	3,653	241	337	248	189	85	314	565	550	216	234	60	88	16	510
令和元年(2019)	3,664	251	338	228	189	91	351	590	556	149	236	53	86	20	526
令和2年(2020)	3,386	219	256	226	176	91	293	516	531	147	241	49	79	15	547
令和3年(2021)	3,867	254	332	257	198	86	371	578	560	184	266	49	81	12	639
令和4年(2022)	3,428	249	305	265	171	72	330	442	557	154	254	53	63	17	496
合計	120,139	5,794	19,312	6,678	6,103	2,856	9,573	14,973	20,175	11,118	5,277	2,047	2,480	692	13,061

年次別・部位別がん患者割合(%) (男女計) 1964-2022 ※平成8年までは、ICD9による集計

区分 (ICD10)	がんの部位 全部位 (C00~D09)	食道がん (C15)	胃がん (C16)	結腸がん (C18)	直腸がん (C19~C21)	肝臓がん (C22)	頭頸部のがん (C00~C14 C30~C32)	肺がん (C33,C34)	乳房がん (C50)	子宮がん (C53~C55 C58)	泌尿器のがん (C60~C68)	甲状腺がん (C73)	悪性リンパ腫 (C82,C84, C85,C96)	白血病 (C91~C95)	その他のがん
昭和39年(1964)	100.0	3.1	27.6	0.0	3.1	0.0	16.9	7.7	15.4	15.4	3.1	0.0	0.0	0.0	7.7
昭和40年(1965)	100.0	3.0	35.3	1.4	4.0	1.1	7.6	6.9	11.6	17.1	1.3	0.9	1.0	1.3	7.5
昭和41年(1966)	100.0	3.2	34.2	1.7	4.2	1.2	9.0	6.3	12.9	16.0	1.2	1.2	1.4	1.1	6.4
昭和42年(1967)	100.0	2.6	34.4	2.1	4.1	1.6	8.9	7.5	10.2	17.2	1.6	0.9	1.4	0.8	6.7
昭和43年(1968)	100.0	2.4	30.2	1.7	3.3	1.5	8.5	7.8	12.9	19.6	1.5	1.4	1.5	1.3	6.4
昭和44年(1969)	100.0	2.7	31.1	1.3	4.3	1.3	8.3	7.6	12.9	18.3	1.2	1.4	1.7	0.6	7.3
昭和45年(1970)	100.0	3.1	27.9	2.3	4.0	1.7	7.9	7.9	14.2	18.3	1.3	1.3	1.3	1.5	7.3
昭和46年(1971)	100.0	2.7	26.7	2.0	3.6	2.3	9.1	7.6	13.9	18.5	1.3	1.8	1.6	0.7	8.2
昭和47年(1972)	100.0	2.8	25.8	2.4	4.2	1.8	9.3	9.2	14.6	18.0	1.2	1.1	1.7	1.0	6.9
昭和48年(1973)	100.0	2.7	26.1	2.1	4.9	1.9	7.8	8.8	12.7	18.9	0.8	1.7	2.1	0.9	8.6
昭和49年(1974)	100.0	4.0	25.4	2.6	4.5	0.7	8.3	8.9	16.5	16.3	1.0	1.8	2.1	0.7	7.2
昭和50年(1975)	100.0	2.7	26.3	2.9	4.6	0.9	7.0	9.3	15.0	17.0	0.6	2.0	2.5	1.3	7.9
昭和51年(1976)	100.0	2.9	26.6	2.4	6.9	1.9	5.0	8.9	15.4	17.7	0.9	1.4	2.7	0.2	7.1
昭和52年(1977)	100.0	2.9	25.4	3.8	6.6	1.1	4.8	8.6	15.6	16.7	0.6	1.6	1.9	1.2	9.2
昭和53年(1978)	100.0	3.8	24.8	3.1	5.4	1.1	5.0	9.6	16.6	15.2	1.1	1.7	1.6	0.6	10.4
昭和54年(1979)	100.0	2.7	24.8	3.9	3.6	2.0	6.1	9.6	17.8	14.4	0.9	1.8	2.8	0.7	8.9
昭和55年(1980)	100.0	3.5	24.2	4.0	5.2	1.7	4.9	9.8	21.0	11.9	1.1	1.9	2.2	1.0	7.6
昭和56年(1981)	100.0	3.1	23.9	3.5	5.3	2.3	3.7	10.5	22.2	11.8	1.2	1.6	2.3	0.8	7.8
昭和57年(1982)	100.0	2.6	22.0	3.7	5.2	2.0	5.1	11.4	23.6	12.7	0.7	1.1	2.2	1.0	6.7
昭和58年(1983)	100.0	3.5	21.2	5.5	6.1	1.8	5.1	11.0	21.2	11.4	0.8	1.3	2.7	0.9	7.5
昭和59年(1984)	100.0	3.0	22.4	5.4	5.0	2.0	4.7	10.2	24.2	9.8	0.5	1.1	2.3	1.2	8.2
昭和60年(1985)	100.0	2.4	20.0	5.2	5.1	2.5	5.8	10.5	24.5	9.4	1.0	1.3	3.5	0.2	8.6
昭和61年(1986)	100.0	2.7	22.4	4.2	5.2	3.0	4.7	9.4	23.4	10.6	0.6	1.5	3.8	0.4	8.1
昭和62年(1987)	100.0	2.4	19.5	5.4	5.3	2.5	5.3	11.3	23.9	9.9	1.1	1.4	2.7	0.8	8.5
昭和63年(1988)	100.0	2.7	19.4	7.6	4.2	2.1	5.9	11.4	24.1	10.2	0.4	1.4	2.7	0.8	7.1
平成元年(1989)	100.0	2.6	21.5	5.3	4.3	2.5	6.7	12.2	21.3	11.0	0.5	2.2	2.6	0.8	6.5
平成2年(1990)	100.0	3.0	19.1	6.5	5.7	3.5	7.4	9.9	18.8	11.7	0.7	2.4	3.0	0.5	7.8
平成3年(1991)	100.0	3.0	17.3	7.7	5.6	3.1	5.2	10.8	21.8	12.9	0.5	1.7	2.8	0.8	6.8
平成4年(1992)	100.0	3.7	16.9	7.0	4.6	2.5	7.0	12.0	20.1	12.4	0.9	2.9	2.1	0.4	7.5
平成5年(1993)	100.0	3.4	18.0	8.3	5.1	4.3	6.0	12.3	20.5	9.3	0.9	1.8	2.8	0.6	6.7
平成6年(1994)	100.0	3.9	18.1	7.3	5.6	3.0	6.5	12.0	20.3	9.8	1.7	1.6	2.9	0.3	7.0
平成7年(1995)	100.0	3.4	16.8	8.0	5.1	3.3	7.4	12.2	19.9	6.9	4.2	1.6	2.7	0.3	8.2
平成8年(1996)	100.0	3.6	13.6	6.6	4.6	3.6	8.4	13.4	19.9	6.9	5.6	2.0	3.0	0.5	8.3
平成9年(1997)	100.0	2.9	14.7	6.8	4.1	3.9	9.0	13.5	18.8	8.0	4.3	1.7	2.5	0.7	9.1
平成10年(1998)	100.0	3.5	15.7	7.1	4.0	4.0	7.7	14.2	17.2	8.4	4.2	1.8	3.0	0.4	8.8
平成11年(1999)	100.0	3.8	13.8	5.5	4.6	3.4	7.6	15.2	20.3	6.1	4.4	1.6	2.6	0.6	10.5
平成12年(2000)	100.0	3.7	13.7	6.5	3.4	3.2	9.5	14.4	17.8	7.4	4.2	1.6	3.4	0.7	10.5
平成13年(2001)	100.0	5.8	12.6	6.8	5.0	2.9	8.2	15.0	17.1	7.8	4.0	2.1	2.9	0.5	9.3
平成14年(2002)	100.0	5.4	12.4	6.9	5.1	2.8	9.6	15.1	15.7	6.7	5.0	2.1	3.0	0.5	9.7
平成15年(2003)	100.0	5.4	12.0	7.0	5.1	2.7	9.1	14.2	14.3	7.0	6.4	2.2	3.4	0.3	10.9
平成16年(2004)	100.0	5.8	12.8	6.7	4.8	2.7	9.3	13.2	13.9	7.7	6.2	2.4	2.3	0.3	11.9
平成17年(2005)	100.0	6.2	12.5	6.5	6.4	3.1	8.9	13.1	14.3	7.4	5.5	1.7	2.5	0.4	11.5
平成18年(2006)	100.0	6.0	13.2	6.8	6.2	2.5	7.0	13.2	15.4	7.4	6.4	2.4	2.3	0.5	10.7
平成19年(2007)	100.0	6.3	12.7	6.2	6.4	2.6	7.7	12.6	14.9	6.2	7.2	2.3	1.6	0.7	12.6
平成20年(2008)	100.0	5.6	13.4	6.2	5.9	2.1	6.6	11.4	16.0	7.5	7.4	2.1	1.4	0.5	13.9
平成21年(2009)	100.0	5.6	10.8	5.6	5.4	2.9	8.9	13.5	14.8	8.9	7.8	1.9	1.2	0.7	12.0
平成22年(2010)	100.0	5.9	11.5	6.3	5.5	3.2	7.4	13.7	15.1	8.1	7.4	1.8	1.1	0.4	12.6
平成23年(2011)	100.0	6.0	10.8	5.8	5.1	2.5	8.7	13.6	16.4	6.8	7.4	1.9	1.3	0.5	13.2
平成24年(2012)	100.0	7.0	11.6	5.7	6.0	2.1	8.8	11.9	16.8	7.5	6.2	1.6	0.9	0.3	13.6
平成25年(2013)	100.0	6.1	10.8	5.9	5.2	2.1	9.6	12.6	17.4	7.2	6.3	2.1	0.9	0.5	13.3
平成26年(2014)	100.0	6.7	9.4	6.0	5.3	2.3	9.3	15.3	17.3	6.8	5.9	1.8	0.3	0.2	13.4
平成27年(2015)	100.0	5.4	10.8	6.0	6.0	2.1	9.2	15.5	16.0	5.5	6.9	1.6	0.1	0.2	14.7
平成28年(2016)	100.0	6.2	11.0	6.1	4.4	1.8	9.6	15.5	16.5	5.3	6.8	1.5	1.9	0.3	13.1
平成29年(2017)	100.0	6.8	10.0	5.9	5.2	1.9	8.5	15.1	16.0	5.2	6.6	1.6	2.5	0.3	14.4
平成30年(2018)	100.0	6.6	9.2	6.8	5.2	2.3	8.6	15.5	15.1	5.9	6.4	1.6	2.4	0.4	14.0
令和元年(2019)	100.0	6.9	9.2	6.2	5.2	2.5	9.6	16.1	15.2	4.1	6.4	1.4	2.3	0.5	14.4
令和2年(2020)	100.0	6.5	7.6	6.7	5.2	2.7	8.7	15.2	15.7	4.3	7.1	1.4	2.3	0.4	16.2
令和3年(2021)	100.0	6.6	8.6	6.6	5.1	2.2	9.6	14.9	14.5	4.8	6.9	1.3	2.1	0.3	16.5
令和4年(2022)	100.0	7.3	8.9	7.7	5.0	2.1	9.6	12.9	16.3	4.5	7.4	1.5	1.8	0.5	14.5
合計	100.0	4.8	16.0	5.6	5.1	2.4	8.0	12.4	16.7	9.3	4.4	1.7	2.1	0.6	10.9

# 登録（診断）年次別がん患者の生存数（男女計）1964－2021

※2024年3月1日時点で把握している情報をもとに作成しています。

2012年以降のものにつきましては、現在も調査中です。あらかじめご了承ください。

登録（診断）年	症例数	経過年数					
		1年経過	2年経過	3年経過	4年経過	5年経過	10年経過
昭和39年（1964）	65	38	33	31	26	23	15
昭和40年（1965）	1,437	800	637	572	541	508	414
昭和41年（1966）	1,606	963	764	673	640	613	507
昭和42年（1967）	1,525	914	708	619	576	551	444
昭和43年（1968）	1,485	939	746	661	617	582	472
昭和44年（1969）	1,572	981	789	698	631	594	503
昭和45年（1970）	1,566	1,016	802	723	670	628	535
昭和46年（1971）	1,639	1,049	850	768	701	642	536
昭和47年（1972）	1,659	1,103	907	820	753	713	593
昭和48年（1973）	1,494	1,007	841	745	704	664	558
昭和49年（1974）	1,366	948	771	686	640	599	500
昭和50年（1975）	1,427	963	776	704	659	634	553
昭和51年（1976）	1,330	926	759	677	640	605	506
昭和52年（1977）	1,286	906	736	677	630	599	521
昭和53年（1978）	1,400	985	816	746	692	655	553
昭和54年（1979）	1,370	994	828	754	706	674	580
昭和55年（1980）	1,386	1,011	846	779	724	688	589
昭和56年（1981）	1,371	1,021	861	779	741	696	588
昭和57年（1982）	1,353	999	858	774	736	707	572
昭和58年（1983）	1,420	1,058	890	806	741	707	600
昭和59年（1984）	1,378	1,046	883	802	753	721	614
昭和60年（1985）	1,515	1,198	1,024	923	858	828	711
昭和61年（1986）	1,440	1,124	974	883	835	795	667
昭和62年（1987）	1,424	1,127	969	881	805	767	650
昭和63年（1988）	1,456	1,163	1,013	924	876	849	738
平成元年（1989）	1,287	1,008	883	819	784	757	642
平成2年（1990）	1,317	1,072	925	867	824	788	685
平成3年（1991）	1,298	1,080	943	873	826	786	685
平成4年（1992）	1,436	1,169	1,009	935	893	858	735
平成5年（1993）	1,547	1,253	1,086	985	938	899	764
平成6年（1994）	1,593	1,305	1,160	1,073	1,005	966	828
平成7年（1995）	1,545	1,259	1,095	992	932	901	760
平成8年（1996）	1,553	1,283	1,123	1,010	967	913	778
平成9年（1997）	1,684	1,407	1,212	1,101	1,037	994	845
平成10年（1998）	1,805	1,467	1,286	1,175	1,108	1,053	889
平成11年（1999）	1,889	1,538	1,325	1,220	1,149	1,103	943
平成12年（2000）	1,902	1,577	1,369	1,266	1,187	1,121	951
平成13年（2001）	2,070	1,677	1,486	1,366	1,273	1,208	1,003
平成14年（2002）	2,219	1,824	1,577	1,414	1,319	1,257	1,056
平成15年（2003）	2,297	1,909	1,665	1,537	1,437	1,363	1,157
平成16年（2004）	2,399	2,029	1,738	1,590	1,506	1,435	1,237
平成17年（2005）	2,645	2,242	1,951	1,781	1,678	1,617	1,390
平成18年（2006）	2,775	2,371	2,093	1,948	1,842	1,782	1,541
平成19年（2007）	2,841	2,425	2,164	2,013	1,909	1,828	1,578
平成20年（2008）	2,678	2,341	2,126	1,980	1,855	1,772	1,545
平成21年（2009）	2,971	2,534	2,250	2,076	1,971	1,889	1,638
平成22年（2010）	3,040	2,620	2,309	2,123	2,002	1,931	1,661
平成23年（2011）	3,040	2,630	2,330	2,168	2,062	1,958	1,684
平成24年（2012）	3,073	2,660	2,355	2,172	2,062	2,013	1,917
平成25年（2013）	3,078	2,613	2,312	2,155	2,057	1,983	1,850
平成26年（2014）	3,022	2,598	2,314	2,153	2,050	1,969	
平成27年（2015）	3,108	2,650	2,354	2,192	2,068	1,983	
平成28年（2016）	3,446	2,993	2,727	2,583	2,487	2,440	
平成29年（2017）	3,613	3,237	3,002	2,875	2,769	2,686	
平成30年（2018）	3,653	3,309	3,074	2,938	2,866	2,813	
令和元年（2019）	3,664	3,320	3,073	2,923	2,841		
令和2年（2020）	3,386	3,029	2,824	2,687			
令和3年（2021）	3,867	3,446	3,228				



# 登録（診断）年次別がん患者の実測生存率（％）（男女計）1964－2021

※2024年3月1日時点で把握している情報をもとに作成しています。

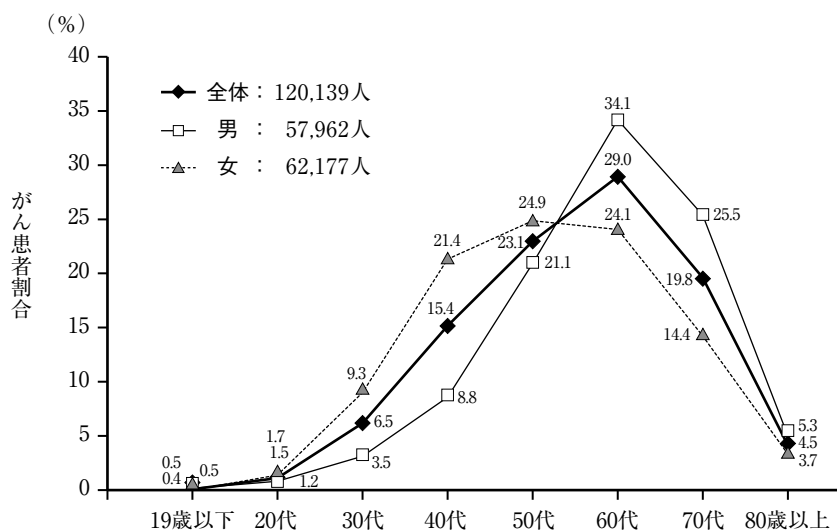
2012年以降のものにつきましては、現在も調査中です。あらかじめご了承ください。

登録（診断）年	経過年数					
	1年経過	2年経過	3年経過	4年経過	5年経過	10年経過
昭和39年（1964）	58.5	50.8	47.7	40.0	35.4	23.1
昭和40年（1965）	55.7	44.3	39.8	37.6	35.4	28.8
昭和41年（1966）	60.0	47.6	41.9	39.9	38.2	31.6
昭和42年（1967）	59.9	46.4	40.6	37.8	36.1	29.1
昭和43年（1968）	63.2	50.2	44.5	41.5	39.2	31.8
昭和44年（1969）	62.4	50.2	44.4	40.1	37.8	32.0
昭和45年（1970）	64.9	51.2	46.2	42.8	40.1	34.2
昭和46年（1971）	64.0	51.9	46.9	42.8	39.2	32.7
昭和47年（1972）	66.5	54.7	49.4	45.4	43.0	35.7
昭和48年（1973）	67.4	56.3	49.9	47.1	44.4	37.3
昭和49年（1974）	69.4	56.4	50.2	46.9	43.9	36.6
昭和50年（1975）	67.5	54.4	49.3	46.2	44.4	38.8
昭和51年（1976）	69.6	57.1	50.9	48.1	45.5	38.0
昭和52年（1977）	70.5	57.2	52.6	49.0	46.6	40.5
昭和53年（1978）	70.4	58.3	53.3	49.4	46.8	39.5
昭和54年（1979）	72.6	60.4	55.0	51.5	49.2	42.3
昭和55年（1980）	72.9	61.0	56.2	52.2	49.6	42.5
昭和56年（1981）	74.5	62.8	56.8	54.0	50.8	42.9
昭和57年（1982）	73.8	63.4	57.2	54.4	52.3	42.3
昭和58年（1983）	74.5	62.7	56.8	52.2	49.8	42.3
昭和59年（1984）	75.9	64.1	58.2	54.6	52.3	44.6
昭和60年（1985）	79.1	67.6	60.9	56.6	54.7	46.9
昭和61年（1986）	78.1	67.6	61.3	58.0	55.2	46.3
昭和62年（1987）	79.1	68.0	61.9	56.5	53.9	45.6
昭和63年（1988）	79.9	69.6	63.5	60.2	58.3	50.7
平成元年（1989）	78.3	68.6	63.6	60.9	58.8	49.9
平成2年（1990）	81.4	70.2	65.8	62.6	59.8	52.0
平成3年（1991）	83.2	72.7	67.3	63.6	60.6	52.8
平成4年（1992）	81.4	70.3	65.1	62.2	59.7	51.2
平成5年（1993）	81.0	70.2	63.7	60.6	58.1	49.4
平成6年（1994）	81.9	72.8	67.4	63.1	60.6	52.0
平成7年（1995）	81.5	70.9	64.2	60.3	58.3	49.2
平成8年（1996）	82.6	72.3	65.0	62.3	58.8	50.1
平成9年（1997）	83.6	72.0	65.4	61.6	59.0	50.2
平成10年（1998）	81.3	71.2	65.1	61.4	58.3	49.3
平成11年（1999）	81.4	70.1	64.6	60.8	58.4	49.9
平成12年（2000）	82.9	72.0	66.6	62.4	58.9	50.0
平成13年（2001）	81.0	71.8	66.0	61.5	58.4	48.5
平成14年（2002）	82.2	71.1	63.7	59.4	56.6	47.6
平成15年（2003）	83.1	72.5	66.9	62.6	59.3	50.4
平成16年（2004）	84.6	72.4	66.3	62.8	59.8	51.6
平成17年（2005）	84.8	73.8	67.3	63.4	61.1	52.6
平成18年（2006）	85.4	75.4	70.2	66.4	64.2	55.5
平成19年（2007）	85.4	76.2	70.9	67.2	64.3	55.5
平成20年（2008）	87.4	79.4	73.9	69.3	66.2	57.7
平成21年（2009）	85.3	75.7	69.9	66.3	63.6	55.1
平成22年（2010）	86.2	76.0	69.8	65.9	63.5	54.6
平成23年（2011）	86.5	76.6	71.3	67.8	64.4	55.4
平成24年（2012）	86.6	76.6	70.7	67.1	65.5	62.4
平成25年（2013）	84.9	75.1	70.0	66.8	64.4	60.1
平成26年（2014）	86.0	76.6	71.2	67.8	65.2	
平成27年（2015）	85.3	75.7	70.5	66.5	63.8	
平成28年（2016）	86.9	79.1	75.0	72.2	70.8	
平成29年（2017）	89.6	83.1	79.6	76.6	74.3	
平成30年（2018）	90.6	84.2	80.4	78.5	77.0	
令和元年（2019）	90.6	83.9	79.8	77.5		
令和2年（2020）	89.5	83.4	79.4			
令和3年（2021）	89.1	83.5				

## ①がん患者 年齢構成図

(昭和39年1月～令和4年12月)

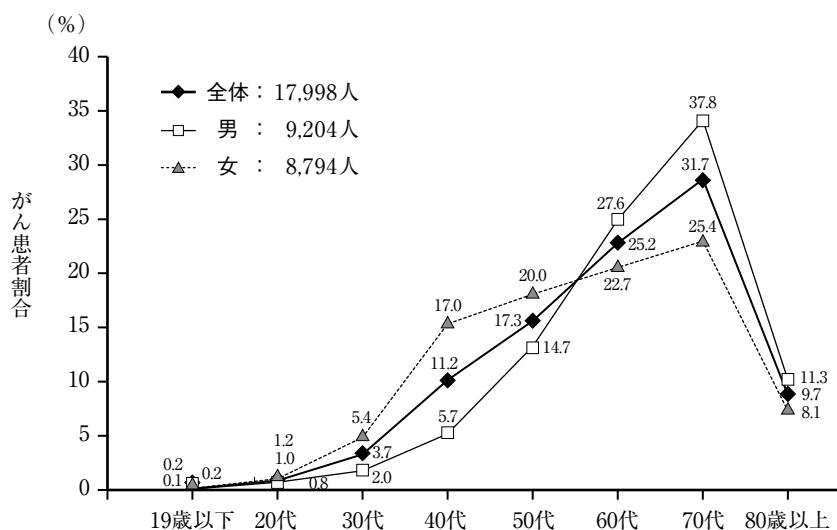
		19歳以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	合 計
男	患者数	310	690	2,012	5,124	12,203	19,788	14,752	3,083	57,962
	%	0.5%	1.2%	3.5%	8.8%	21.1%	34.1%	25.5%	5.3%	100.0%
女	患者数	241	1,083	5,763	13,323	15,506	15,010	8,977	2,274	62,177
	%	0.4%	1.7%	9.3%	21.4%	24.9%	24.1%	14.4%	3.7%	100.0%
計	患者数	551	1,773	7,775	18,447	27,709	34,798	23,729	5,357	120,139
	%	0.5%	1.5%	6.5%	15.4%	23.1%	29.0%	19.8%	4.5%	100.0%



## ②がん患者 県別分布数

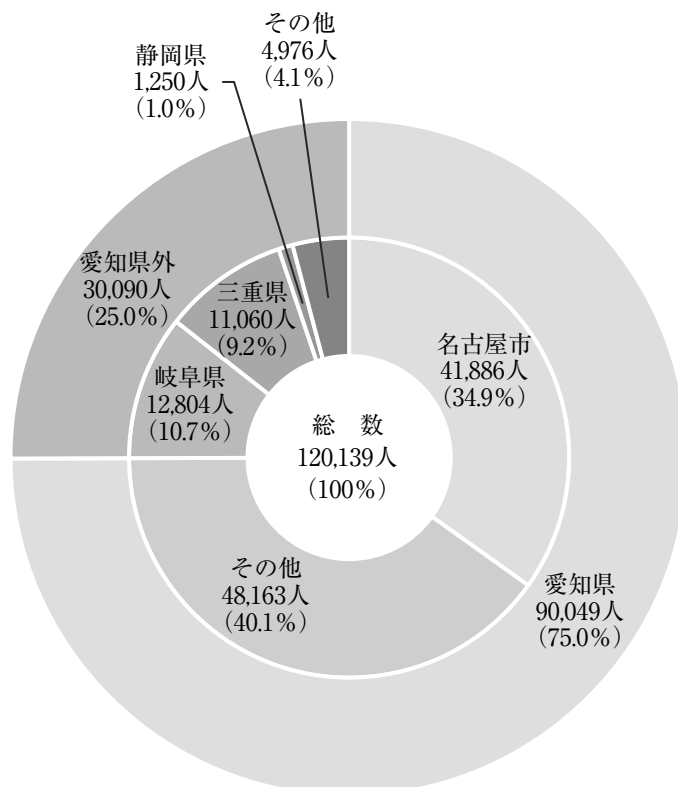
(平成30年1月～令和4年12月)

		19歳以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	合 計
男	患者数	11	75	183	529	1,351	2,540	3,477	1,038	9,204
	%	0.1%	0.8%	2.0%	5.7%	14.7%	27.6%	37.8%	11.3%	100.0%
女	患者数	17	103	475	1,493	1,760	1,999	2,235	712	8,794
	%	0.2%	1.2%	5.4%	17.0%	20.0%	22.7%	25.4%	8.1%	100.0%
計	患者数	28	178	658	2,022	3,111	4,539	5,712	1,750	17,998
	%	0.2%	1.0%	3.7%	11.2%	17.3%	25.2%	31.7%	9.7%	100.0%



### ①がん患者 県別分布数

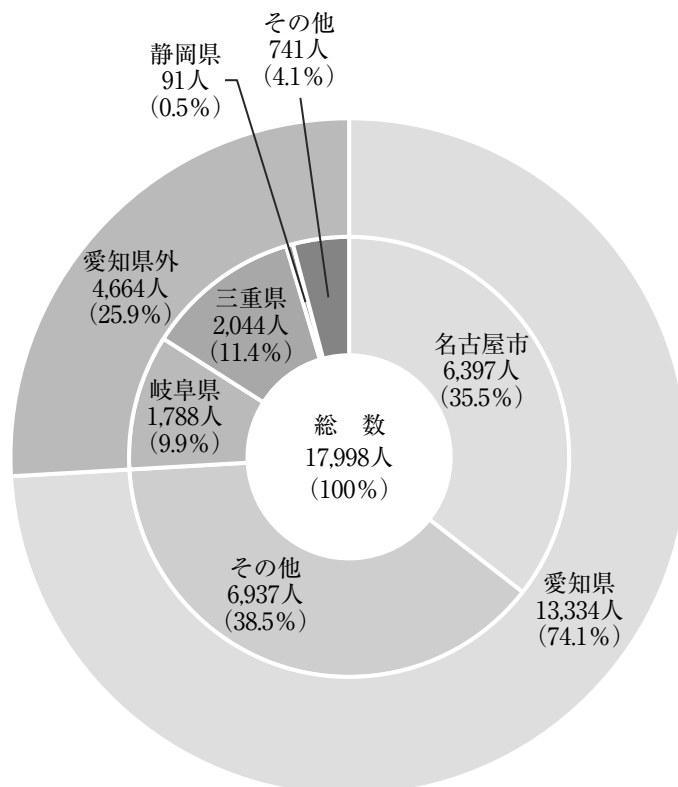
(昭和39年1月～令和4年12月)



※小数点第二位を四捨五入

### ②がん患者 県別分布数

(平成30年1月～令和4年12月)



※小数点第二位を四捨五入

## レジデント履修状況

区 分	総 数	消化器 内科コース	呼吸器 内科コース	腫瘍内科・ 血液内科 コース	頭頸部 外科コース	呼吸器外科・ 乳腺科コース	消化器 外科コース	泌尿器・婦人科・ 整形外科・ 形成外科コース	放射線 診断コース	放射線 治療コース	遺伝子 病理診断 コース	麻酔科 コース	感染症 内科コース
昭和61年度～ 令和2年度	1,374	139	73	104	125	202	186	71	111	316	43	4	0
令和3年度	43	5	2	7	4	9	8	2	3	1	1	0	1
令和4年度	43	5	1	8	5	7	7	4	3	2	0	0	1
令和5年度	40	4	0	4	5	6	7	5	3	2	1	1	2
総 数	1,500	153	76	123	139	224	208	82	120	321	45	5	4

(注) 呼吸器外科・乳腺科コースは、平成22年度までは胸部外科・乳腺科コース

## リサーチレジデント履修状況

区 分	総 数	がん情報・ 対策研究 コース	がん予防 研究 コース	分子遺伝学 コース	がん病態 生理学 コース	分子腫瘍学 コース	システム 解析学 コース	腫瘍制御学 コース	腫瘍免疫 応答研究 コース	腫瘍免疫 制御TR コース	分子診断 TRコース	がん標的 治療TR コース	個別化 医療TR コース	臨床研究 基礎コース
平成13年度～ 令和2年度	190	19	25	0	22	27	0	21	20	30	2	17	0	7
令和3年度	8	1	1	0	0	2	1	0	1	1	0	1	0	—
令和4年度	11	1	1	0	0	2	1	0	2	2	1	1	0	—
令和5年度	11	1	2	0	0	1	2	0	0	2	2	2	0	—
総 数	220	22	29	0	22	32	4	21	23	35	2	21	0	7

(注) がん情報・対策研究コースは、平成29年度までは疫学・予防学コース

がん予防研究コースは、平成29年度までは遺伝子医療研究コース

がん病態生理学コースは、平成29年度までは分子病態学コース

腫瘍制御学コースは、平成29年度までは感染腫瘍学コース

腫瘍免疫応答研究コースは、平成29年度までは腫瘍免疫学コース

腫瘍免疫制御TRコースは、平成29年度までは腫瘍医化学コース

がん標的治療TRコースは、平成29年度までは腫瘍病理学コース

## 医療技術者研修受入れ状況

区 分	総 数	昭和41年度～ 平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
総 数	6,112	5,713	60	83	70	97	89
医 師	3,831	3,599	33	39	42	55	63
診 療 放 射 線 技 師	250	228	0	7	4	7	4
臨 床 ( 衛 生 ) 検 査 技 師	619	610	4	2	1	1	1
看 護 師	326	317	1	3	1	3	1
そ の 他	1,086	959	22	32	22	31	20

## 図書蔵書状況

年度	種類	計	単 行 本		製 本 雑 誌	
			洋	和	洋	和
受 入 数	昭和40年度～令和2年度	77,223	12,189	23,435	28,425	13,174
	令和3年度	612	7	473	0	132
	令和4年度	731	6	521	0	204
	令和5年度	330	22	201	0	107
除 籍 累 計		22,944	3,726	7,536	9,854	1,828
総 数		55,952	8,498	17,094	18,571	11,789

# 主な備品・設備

備 品 (令和6年4月1日現在)

(3,000万円以上)

品 名	取得年度	型 式	数量	設置場所
FPD搭載Cアーム型デジタルX線テレビシステム	平成24年度	Ultimax-i 東芝	1	内視鏡部
上部消化管内視鏡手術総合システム	平成25年度	EVIS LUCERA ELITE オリンパス	1	内視鏡部
心電図自動解析装置	平成3年度	FCP-800 フクダ電子	1	血液・細胞療法部
自動化学分析装置	平成23年度	Labospect008 (タイプ1)	1	臨床検査部
全自動血液検査システム	平成27年度	XN-3000+DI-60 シスメックス	1	臨床検査部
診断用X線装置	※ 昭和61年度	KXO850 東芝	1	放射線診断・IVR部
Cアーム型X線テレビシステム	平成21年度	ULTIMAX-I	1	放射線診断・IVR部
据置型デジタル式汎用X線撮影装置	平成22年度	FUJIFILM DR BENE0 富士	1	放射線診断・IVR部
据置型デジタル式汎用X線透視診断装置	平成22年度	CUREVISTA 日立メディコ	1	放射線診断・IVR部
全身用X線CT診断装置	平成24年度	Aquilion PRIME 東芝	1	放射線診断・IVR部
2検出器可変型ガンマカメラシステム	平成24年度	Infinia3 Hawkeye4 GE	1	放射線診断・IVR部
乳房X線撮影装置	平成25年度	AMULET Innovality 富士	1	放射線診断・IVR部
IVR-CT	平成27年度	Infinix Celeve-I INFx-8000C・Aquilion PRIME 東芝	1	放射線診断・IVR部
全身用X線CT診断装置	平成29年度	Aquilion PRIME キヤノンメディカルシステムズ	1	放射線診断・IVR部
据置型デジタル式汎用X線透視診断装置	平成29年度	EXAVISTA 日立製作所	1	放射線診断・IVR部
磁気共鳴断層撮影装置	平成30年度	SIGNA Architect3.0T GE	1	放射線診断・IVR部
据置型デジタル式汎用X線診断装置	令和元年度	BENE0-Fx・CALNEO Smart C77 富士フィルム	1	放射線診断・IVR部
全身用X線CT診断装置	令和2年度	Aquilion ONE PRISM Edition キヤノンメディカルシステムズ	1	放射線診断・IVR部
IVR-CT	令和3年度	AquilionONE/Alphenix キヤノンメディカルシステムズ	1	放射線診断・IVR部
一般X線撮影システム	令和3年度	Beneo Fx/CALNEO-SmartC77 富士フィルムメディカル	1	放射線診断・IVR部
乳腺バイオプシー専用システム	令和4年度	Affirm Prone Biopsy System ホロジックジャパン	1	放射線診断・IVR部
磁気共鳴断層撮影装置	令和5年度	SIGNA Architect3.0T GE	1	放射線診断・IVR部
放射線治療位置決め装置	平成19年度	LX-40A 東芝	1	放射線治療部
医療用リニアック	平成23年度	Synergy エレクタ	1	放射線治療部
全身用エックス線コンピュータ断層撮影装置	平成26年度	Aquilion LB・TSX-201A 東芝	1	放射線治療部
遠隔操作式腔内治療装置	平成26年度	マイクロセレクトロンHDRシステム ニュークレトロン	1	放射線治療部
医療用リニアック	平成28年度	Truebeam バリアン	1	放射線治療部
放射線治療情報システム	令和元年度	MOSAIQ OIS エレクタ	1	放射線治療部
医療用リニアック	令和元年度	Radixact X9 Accuray	1	放射線治療部
集中患者監視システム	平成3年度	CBN-3000CN特型 コーリン電子	1	手術室
手術室内ITVシステム	※ 平成3年度	特型 ソニー	1	手術室
手術用顕微鏡	平成25年度	OPMI PENTERO 900 カールツァイスメディテック	1	手術室
ロボット支援手術用システム	平成27年度	da vinci xi インテュイティブサージカル	1	手術室
術中ナビゲーションシステム	平成29年度	StealthStationS7 日本メドトロニック	1	手術室
手術用顕微鏡システム	平成29年度	KINEVO900 カールツァイス	1	手術室
手術用顕微鏡	令和3年度	Arveo ライカマイクロシステムズ	1	手術室
注射薬自動払出システム	令和2年度	UNIPUL-5000 トーショー	1	薬剤部
自動カート洗浄装置	※ 平成3年度	CWR-2500W サクラ精機	1	中村事務室
カルテ保管庫	※ 平成5年度	カルテ管理システム 日本ファイリング	1	診療録管理室
医用画像管理システム	令和4年度	SYNAPSE Ver.5.5.0 富士フィルムメディカル	1	サーバー室
動物飼育設備	平成11年度	ダイゲン	1	研究所
共焦点レーザー顕微鏡	平成18年度	LSM510MATE-ACC カールツァイス	1	研究所
放射線管理総合システム	平成21年度	MSR3000 アロカ	1	研究所
高速自動セルソーター	平成25年度	FACS AriaIII 日本ベクトンデッキンソン	1	研究所
次世代DNAシーケンサー	平成26年度	NextSeq500システム イルミナ	1	研究所
動物用コンピューター断層撮影装置	平成29年度	CosmoScanGXII リガク	1	研究所
中央実験台等	※ 平成11年度	イトーキ	1	研究所

(注) ※印の備品は、年金積立金還元融資を受けて購入

## 附属設備 (令和6年4月1日現在)

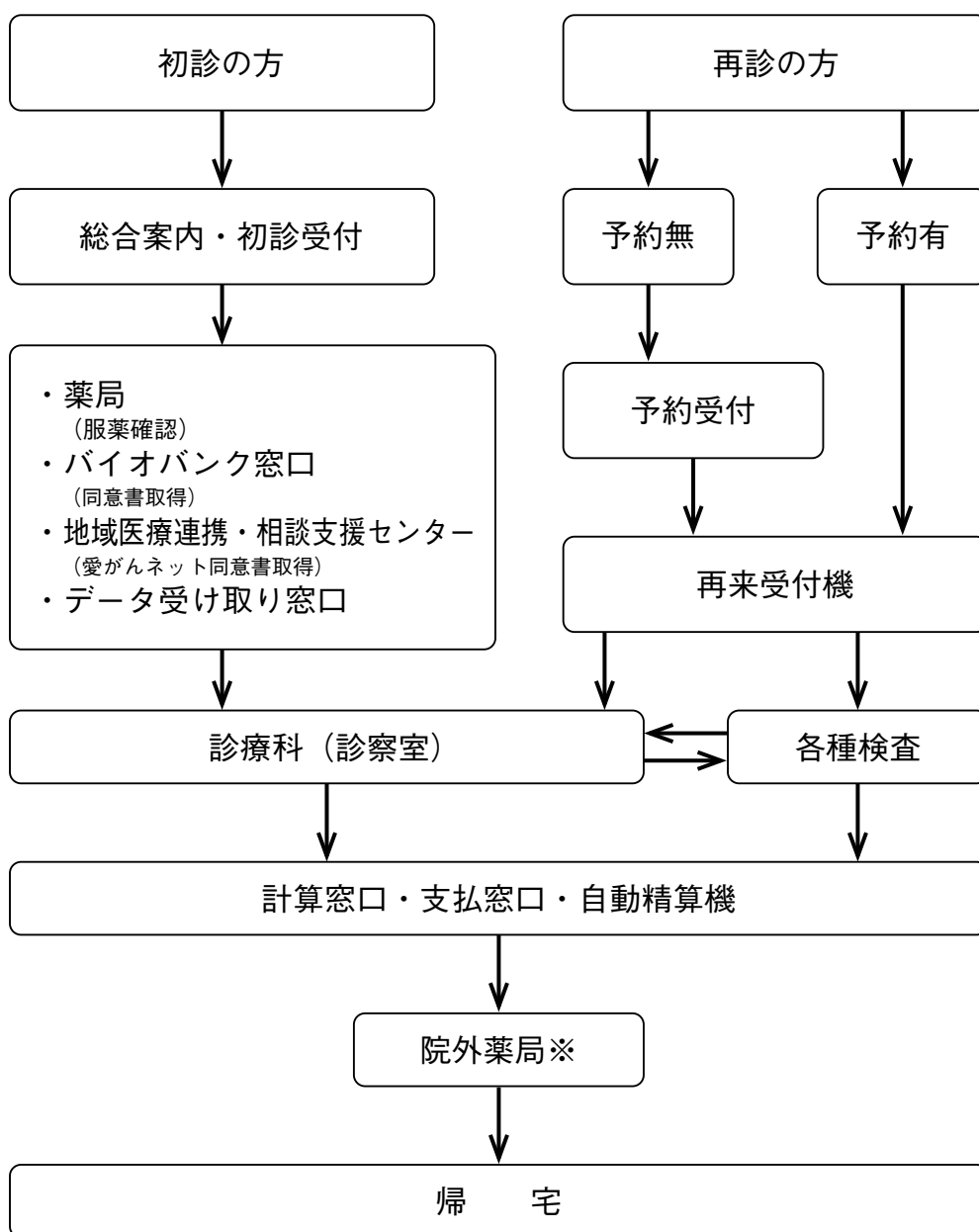
設備名	設備機械	数量	設備名	設備機械	数量	設備名	設備機械	数量
空気換気設備	冷 凍 機	4	電気設備	特高受電用変圧器	2	医療ガス設備	液体酸素貯蔵タンク	1
	ヒートポンプチラー	1		高圧配電用変圧器	54		真空ポンプ(吸引用)	4
	ボ イ ラ ー	2		非常用発電機	3		液体窒素貯蔵タンク	1
	貫 流 ボ イ ラ ー	3		常用発電機(コージェネ)	1		純正空気用混合器	1
	冷 温 水 発 生 器	5		常用発電機(小水力)	1			
	空 調 機	109		電 話 交 換 機	1			
	送 排 風 機	322		昇 降 機	19			

# 病院業務 (令和6年4月1日現在)

**診療科目** 消化器内科、内視鏡内科、呼吸器内科、血液内科、薬物療法内科、臨床検査科、病理診断科、頭頸部外科、形成外科、呼吸器外科、乳腺科、消化器外科、整形外科、リハビリテーション科、泌尿器科、婦人科、脳神経外科、麻酔科、放射線診断科、放射線治療科、眼科、皮膚科、循環器内科、感染症内科、歯科、緩和ケア内科、腫瘍精神科 計 27 診療科

**病床数** 500床

## 外来診療の流れ



※薬剤により院内薬局にて処方する場合がある。

## 外来患者状況

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
診 療 日 数	242	243	242	243	243
新 来 患 者 数	5,415	4,612	4,902	5,036	5,013
患 者 延 数	145,131	139,861	143,944	143,148	142,818
1 日 平 均 患 者 数	599.7	575.6	594.8	589.1	587.7
平 均 通 院 回 数	26.8	30.3	29.4	28.4	28.5
紹 介 患 者 比 率	98.2	99.0	99.1	99.2	99.1
外 来 化 学 療 法 件 数	27,973	28,626	29,018	27,939	27,859

## 入院患者状況

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
患 者 総 数	総 数	10,940	10,414	10,004	9,471	10,408
	繰 越	328	308	316	312	269
	新入院	10,612	10,106	9,688	9,159	10,139
退 院 患 者 数	総 数	10,632	10,098	9,692	9,202	10,119
	死 亡	361	285	251	231	253
	その他	10,271	9,813	9,441	8,971	9,866
患 者 延 数		137,297	124,913	118,174	109,389	121,854
1 日 平 均 患 者 数		375.1	342.2	323.8	299.7	332.9
平 均 在 院 日 数		11.9	11.4	11.2	10.9	11.0
稼 働 病 床 利 用 率		79.3	72.4	68.4	63.4	70.4
病 床 回 転 率		28.3	29.5	29.9	30.6	30.4
死 亡 率		3.4	2.8	2.6	2.5	2.5

## 住所地別患者数

区 分	住 所 地	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
外 来 新 来 患 者 数	愛 知 県	3,708	80.4%	3,906	79.7%	4,015	79.7%	4,028	80.4%
	名古屋市	2,009	43.6%	2,155	44.0%	2,279	45.3%	2,281	45.5%
	そ の 他	1,699	36.8%	1,751	35.7%	1,735	34.5%	1,747	34.8%
	県 外	904	19.6%	996	20.3%	1,021	20.3%	985	19.6%
	総 数	4,612	100.0%	4,902	100.0%	5,036	100.0%	5,013	100.0%
新 入 院 患 者 数	愛 知 県	7,712	76.3%	7,262	75.0%	6,945	75.8%	7,737	76.3%
	名古屋市	3,586	35.5%	3,400	35.1%	3,421	37.4%	3,917	38.6%
	そ の 他	4,126	40.8%	3,862	39.9%	3,524	38.5%	3,820	37.7%
	県 外	2,394	23.7%	2,426	25.0%	2,214	24.2%	2,402	23.7%
	総 数	10,106	100.0%	9,688	100.0%	9,159	100.0%	10,139	100.0%

## 患者給食実施状況

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
入院患者延数		137,297	124,913	118,174	109,389	121,854
給食数 (配膳延食数)	総数	275,840	252,118	244,050	222,887	249,814
	一般食	203,641	181,737	170,808	154,615	175,911
	特別食	72,199	70,381	73,242	68,272	73,903

## 放射線照射回数（診断—直接撮影件数）

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
総数		50,727	49,517	50,267	49,502	48,925
単純撮影		44,292	43,042	43,593	43,084	42,416
造影撮影		4,920	5,079	4,990	4,693	4,558
特殊撮影		1,515	1,396	1,684	1,725	1,951

## アイソトープ検査件数

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
総数		743	710	694	750	722
センチスキヤン		383	334	380	357	334
センチネルリンパ		305	346	276	347	353
動態計測		55	30	38	46	35

(注) センチネルリンパ節の検査は平成17年度より始めた。

## コンピュータ断層撮影およびMRI検査件数

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
総数		29,598	28,959	28,878	28,915	30,972
C T		24,191	23,568	23,694	23,767	26,124
M R I		5,407	5,391	5,184	5,148	4,848

## 超音波断層撮影件数

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
総数		3,302	2,947	3,146	3,127	2,986
部 位 別	甲状腺	334	275	240	161	159
	乳腺	753	742	813	907	870
	腹部	1,851	1,604	1,567	1,544	1,461
	その他	364	326	526	515	496

(注) 放射線診断部・I V R部 超音波検査室における超音波検査件数。



## 放射線照射回数（治療）

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
総 数		51,617	44,771	45,013	42,682	42,895
放射線治療計画策定件数		1,573	1,364	1,289	1,243	1,332
放射性物質	R A L S	100	88	64	74	81
	小 線 源	3	5	7	7	10
そ の 他	リニアック	48,619	42,084	42,441	40,158	40,188
	C T	1,317	1,228	1,212	1,200	1,284
	シミュレーター	5	2	0	0	0

## 一般臨床検査件数

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
総 数		3,498,819	3,480,910	3,642,919	3,594,716	3,748,978
尿 検 査		32,864	31,049	30,189	30,879	31,708
糞 便 検 査		250	231	238	196	219
血液学的検査		1,045,347	1,046,706	1,079,160	1,053,842	1,102,726
生化学的検査		1,889,679	1,869,585	1,933,438	1,889,930	1,984,793
細菌学的検査 （監視培養検査）		22,413 (1,738)	26,200 (1,722)	28,031 (1,493)	26,790 (1,256)	27,428 (1,495)
血清学的検査		269,369	266,098	276,377	298,457	299,739
病理組織検査		9,553	9,144	9,401	9,603	9,356
癌遺伝子検査		2,797	3,163	3,100	3,014	3,140
細胞学的検査		5,898	5,707	5,449	5,533	5,401
血液ガス検査		2,369	2,568	2,766	3,408	3,686
その他	採血業務	216,328	218,562	272,098	270,448	277,328
	治験処理等	1,952	1,897	2,672	2,616	3,454

(注) ( ) 内は内数。

## 機能検査件数

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
総 数	22,947	22,326	24,271	23,872	22,115
心 電 図 検 査	4,978	4,823	5,287	5,384	5,836
負 荷 心 電 図 検 査	2,378	2,249	2,216	2,261	2,174
ト レ ッ ド ミ ル 検 査	539	533	612	689	535
ホ ル タ ー 心 電 図 検 査	57	50	60	37	47
心 臓 超 音 波 検 査	3,261	3,384	3,406	3,311	3,229
肺 機 能 検 査	10,782	10,328	11,643	11,099	9,230
ピ ロ リ 菌 呼 気 試 験	81	83	82	54	63
聴 力 検 査	96	116	137	127	131
乳 腺 超 音 波 検 査	775	760	828	910	870

## 部門別検査件数（県立病院統一件数）

区 分	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	総件数	院内件数	外注件数	総件数	院内件数	外注件数	総件数	院内件数	外注件数
総 数	3,664,691	3,614,248	50,443	3,620,958	3,570,441	50,517	3,775,090	3,754,607	20,483
一般検査	130,917	130,872	45	166,184	166,099	85	184,402	184,402	0
血液検査	740,286	739,547	739	722,145	721,369	776	757,734	756,817	917
免疫血清検査	212,382	198,977	13,405	192,983	180,793	12,190	205,853	200,480	5,373
生化学検査	2,112,582	2,078,517	34,065	2,072,450	2,037,350	35,100	2,146,471	2,134,610	11,861
微生物検査	58,414	56,307	2,107	57,140	54,828	2,312	61,098	58,829	2,269
病理細胞診検査	111,298	111,298	0	112,876	112,876	0	116,386	116,386	0
生理検査	24,271	24,189	82	23,872	23,818	54	22,115	22,052	63
その他の検査	274,541	274,541	0	273,308	273,308	0	281,031	281,031	0

(注) 愛知県立病院での統一件数集計方式による。

## 内視鏡検査件数

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
総 数	11,778	11,390	10,716	10,923	10,843
上 部 消 化 管	6,565	6,093	6,003	6,210	6,144
下 部 消 化 管	2,884	2,777	2,016	1,938	1,936
気 管 支	198	153	178	205	167
膵 胆 管 造 影 (ERCP)	464	588	627	571	512
超 音 波 内 視 鏡 (EUS)	955	1,054	1,100	1,136	1,211
超 音 波 内 視 鏡 下 穿 刺 生 検 (EUS-FNA)	478	432	507	491	522
そ の 他 検 査	234	293	285	372	351

## 内視鏡治療件数

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
総 数	1,384	1,419	1,449	1,562	1,488
食 道 E M R	22	10	14	21	9
胃 E M R	0	0	0	0	0
大腸EMR、ポリペク	398	429	452	474	431
食 道 E S D	75	68	72	74	60
胃 E S D	92	82	89	122	85
大 腸 E S D	60	73	56	51	55
食道狭窄拡張術	190	94	119	139	149
胆道ステント留置術	409	521	500	507	558
乳頭切開術、胆道碎石術	138	142	147	174	141

## 手術件数

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
総 数	3,380	3,287	3,203	3,235	3,384
頭 頸 部 外 科	491	453	405	479	511
呼 吸 器 外 科	469	422	391	344	369
乳 腺 科	466	459	452	440	469
消 化 器 外 科	914	854	865	863	858
婦 人 科	232	275	252	253	289
泌 尿 器 科	227(3)	241(4)	236(8)	245(9)	257(11)
整 形 外 科	381	347	325	349	356
形 成 外 科	116	128	145	153	153
そ の 他	84	108	132	109	122

※各年度、手術室で実施した手術件数で、外来手術は含まない。  
泌尿器科の（ ）内は小線源治療数（外数）

## 主な部位別手術症例数・特殊治療件数

部 位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	部 位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
頭 頸 部 が ん	311	359	383	子 宮 頸 が ん	23	30	51	
食 道 が ん	94	90	91	(円錐切除)	49	49	55	
肺 が ん	287	237	241	子 宮 体 が ん	33	40	64	
乳 が ん	423	404	452	卵 巣 が ん	31	39	50	
胃 が ん	133	147	144	前 立 腺 が ん	42	37	33	
大 腸 が ん	380	409	409	悪 性 骨 軟 部 腫 瘍	80	81	81	
肝 ・ 胆 が ん	78	74	92	I V R	1,675	1,485	1,379	
膵 臓 が ん	90	81	75	造 血 幹 細 胞 移 植	同 種	2	1	5
					自 家	9	5	12

※がんの部位別手術症例数は、各診療科保有のデータによる。

## 薬剤業務状況

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
処 方	枚 数	総 数	83,886	89,496	77,841	73,181	82,986
		外 来	11,043	10,256	2,436	2,682	5,573
		入 院	72,843	79,240	75,405	70,499	77,413
方	剤 数	総 数	178,633	168,076	134,311	126,993	150,721
		外 来	38,585	36,620	9,186	10,673	23,073
		入 院	140,048	131,456	125,125	116,320	127,648
方	延 剤 数	総 数	1,631,014	1,563,215	991,479	1,004,080	1,272,802
		外 来	701,985	685,346	171,976	243,093	410,631
		入 院	929,029	877,869	819,503	760,987	862,171
治 験 処 方 枚 数		総 数	1,029	1,052	1,295	1,642	1,542
		外 来	862	996	1,230	1,561	1,411
		入 院	167	56	65	81	131
注 射	枚 数 <sup>*1</sup>	総 数	109,413	104,216	143,653	135,544	144,427
		外 来	36,398	36,277	40,315	39,550	38,447
		入 院	73,015	67,939	103,338	95,994	105,980
射	剤 数	総 数	478,369	460,872	527,468	507,816	549,102
		外 来	124,757	125,011	143,943	145,067	147,079
		入 院	353,612	335,861	383,525	362,749	402,023
外来患者指導 <sup>*2</sup>	常用薬調査	人 数	5,686	4,863	4,895	5,399	5,470
	窓口指導	件 数	328	280	219	241	204
外来抗がん剤調製数 <sup>*3</sup>	件数(患者数)	23,082	23,183	24,408	24,289	24,611	
	剤 数	39,039	38,577	39,090	39,410	39,217	
外来抗がん剤調製数 <sup>*4</sup> (治験)	件数(患者数)	1,391	1,778	1,890	1,894	1,848	
	剤 数	1,748	2,423	2,669	2,606	2,616	
入院抗がん剤調製数 <sup>*5</sup> (治験を含む)	件数(患者数)	8,280	7,315	7,302	7,520	8,871	
	剤 数	12,689	11,040	10,266	9,517	11,646	
麻 薬 処 方 せ ん 枚 数		7,886	7,432	5,142	4,649	5,705	
麻 薬 注 射 せ ん 枚 数		21,194	20,384	16,714	15,654	21,006	
T P N 調 製 件 数 <sup>*6</sup>		—	1,322	2,090	1,896	2,143	
T D M 実 施 件 数		205	365	318	287	454	

\* 1 令和3年度分は、注射自動払出システム変更に伴いオーダー追加や変更も計上

\* 2 外来患者指導関連は、調剤科窓口で薬剤師が実施した分のみを計上

\* 3 外来抗がん剤調製数は、薬剤師が調製した分のみを計上

\* 4 外来抗がん剤調製数(治験)は、薬剤師が調製した分のみを計上(\*3の外数)

\* 5 入院抗がん剤調製数(治験を含む)は、薬剤師が調製した分のみを計上

\* 6 TPN調製件数は、令和2年5月から実施した分を計上

## 臨床薬剤業務状況

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
薬 剤 管 理 指 導 数	人 数	6,218	7,884	7,293	7,319	9,236
	算定件数	7,829	9,939	9,014	9,001	11,634
退 院 時 薬 剤 情 報 管 理 指 導 件 数		700	1,602	1,465	2,029	3,100
病 棟 薬 剤 業 務 実 施 加 算 件 数 <sup>*1</sup>		23,855	23,561	22,624	20,589	22,931
プ レ ア ボ イ ド 報 告 件 数 <sup>*2</sup>		21	23	51	44	52

\* 1 病棟薬剤業務実施加算件数は、令和元年までは実施加算1のみ、令和2年度より実施加算1及び2の総数を計上

\* 2 プレアボイド報告件数は、令和元年5月からの実施分を計上

## 院外処方せん交付状況

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
処方せん総枚数	62,778	61,034	62,696	62,634	62,900
院内処方せん枚数(外来)	11,043	10,256	2,436	2,682	5,573
院外処方せん枚数	51,735	50,778	60,260	59,952	57,327
比率 $\left(\frac{\text{院外処方せん枚数}}{\text{処方せん総枚数}}\right)\%$	82.4	83.2	96.1	95.7	91.1

## 血液使用状況

### 1. 血液使用量

(単位：単位)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
自 己 血 液	22	14	10	10	12
全 血 液	0	0	0	0	0
赤 血 球 液	5,018	4,558	4,340	4,254	5,338
他の赤血球製剤	8	0	0	0	0
凍 結 血 漿	1,094	1,600	1,196	1,108	1,058
血 小 板	9,335	7,495	7,895	7,205	11,300

(注) 全血製剤は血液200mlを1単位、成分製剤は血液200mlに由来する成分を1単位とする。

他の赤血球製剤：解凍赤血球、洗浄赤血球等

### 2. 検査件数

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
ク ロ ス マ ッ チ	2,701	2,456	2,242	2,277	2,829
血 液 型 (A B O)	8,825	8,931	8,912	9,663	9,943
R H 因 子	8,825	8,931	8,912	9,663	9,943
間 接 ク ー ム ス 試 験	4,254	4,628	4,446	5,089	5,307
抗 体 ス ク リ ー ニ ン グ	8,821	8,928	8,909	9,662	9,942
直 接 ク ー ム ス 試 験	30	49	24	35	17

## 治験等実施件数

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
治 験 (内 拡 大 治 験)	191 (3)	208 (4)	211 (2)	213 (1)	245 (3)
製 造 販 売 後 臨 床 試 験	16	11	8	19	18
製 販 後 使 用 成 績 調 査	44	41	42	47	47
そ の 他	0	0	0	0	0
合 計	251	260	261	279	292
( 新 規 依 頼 分 )	(63)	(55)	(59)	(59)	(52)
医 師 主 導 治 験	20	23	25	24	22

## 臨床研究件数

(各年度末時点)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実施中の臨床研究数 (臨床研究法対象分)	103	105	109	118	120
実施中の臨床研究数 (人を対象とする生命科学・医学系 研究に関する倫理指針対象分)	737	771	720	714	690
合 計	840	876	829	832	810

## 死体解剖数

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
死 亡 患 者 数	361	285	251	231	253
解 剖 数	0	1	2	0	0
解 剖 率	0.0	0.4	0.8	0.0	0.0

## がんゲノム外来件数

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
件 数	99	371	396	409	363

\* 令和元年10月より開始。

## エキスパートパネル件数

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
検 討 症 例 数	72	373	385	450	441

\* 令和元年11月より開始。

## 遺伝カウンセリング件数

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
件 数	153	273	280	188	189

## セカンドオピニオン

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
件 数	1,258	1,137	1,245	1,276	1,231

## 相談件数

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
医 療 社 会 福 祉 相 談	4,572	4,377	5,084	5,866	6,159
〔内訳〕 電話相談	2,480	2,039	2,598	3,014	2,859
面接相談	2,061	2,299	2,422	2,816	3,250
メール相談 (平成31年4月～)	31	39	64	36	50
就 労 相 談	47	23	7	11	9
就 職 相 談	112	70	47	60	65
両 立 相 談	24	8	0	4	4

# 研究業務

愛知県がんセンターは、がん患者の診断治療を行うのみならず、明日のがん医療につながる研究業務の実施も主たる設置目的の一つに含まれている。この目的のため、病院部門における臨床研究と研究所部門における疫学研究・トランスレーショナル研究の推進と統合を図り、総合がんセンターとしての機能を発揮している。

令和6年度における研究課題は、次のとおりである。

## 重点プロジェクト研究課題

### がんゲノム予防医療プロジェクト

- 1 大規模病院疫学研究をベースとした環境要因・遺伝要因を用いた散発性がんの個別化予防を志向したエビデンスの創出研究

### がん超精密医療プロジェクト

- 1 分子標的治療薬を中心として抗悪性腫瘍薬に対する効果予測、耐性機序解明に関わる基盤形成
- 2 難治がんPDXモデルを用いた革新的創薬プラットフォームの構築

### がん免疫ゲノムプロジェクト

- 1 がん免疫ゲノムデータを基盤とした革新的な抗原特異的免疫治療法の開発
- 2 次世代免疫細胞療法開発に向けた基盤技術構築

### がん情報革命プロジェクト

- 1 愛知県のがん医療の評価と向上のための、院内がん登録を中心としたデータベースの構築と住民ベースがん登録情報の活用
- 2 人工知能・機械学習技術を用いたバイオメディカルデータ解析基盤の開発と活用

## 研究所における分野別研究課題

### がん情報・対策研究分野

- 1 がん登録情報を用いた記述疫学的手法によるがん対策・医療の評価
- 2 記述疫学研究に基づくがん情報の整備と発信

### がん予防研究分野

- 1 各種がんに対する分析疫学的解析による、がんリスクと繋がる遺伝的・環境的要因、並びにその組み合わせ効果の解明
- 2 上記結果に基づく個別化予防プログラムの開発

### 分子遺伝学分野

(選考中)

#### がん病態生理学分野

- 1 がんの発症・悪性化における微小環境の役割の解明
- 2 転移の分子メカニズムの解明と予防・治療標的の探索
- 3 がん悪液質の病態生理解明と治療戦略の基盤構築

#### 分子腫瘍学分野

- 1 悪性中皮腫の発がん機序の解明と細胞生物学的研究
- 2 細胞特性に基づくがんの新規診断法・治療法の開発研究

#### システム解析学分野

- 1 統計的モデリングおよび深層学習技術を活用したがん細胞および免疫細胞データ解析法の開発研究
- 2 臨床シーケンスへ向けたがん変異およびシステム変調情報の解釈・翻訳法の研究

#### 腫瘍制御学分野

- 1 がんにおけるシグナル制御破綻機構の解明および治療戦略創出への応用
- 2 細胞間コミュニケーションを介したがん進展メカニズムの解明

#### 腫瘍免疫応答研究分野

(選考中)

#### 腫瘍免疫制御トランスレーショナルリサーチ分野

- 1 がん免疫編集のメカニズムの解明
- 2 腫瘍特異抗原の同定と免疫応答の解析
- 3 ネオアンチゲンを標的としたがん免疫療法の開発

#### 分子診断トランスレーショナルリサーチ分野

- 1 がんの診断・治療個別化に有用な血液バイオマーカーの探索
- 2 網羅的分子プロファイリングによるがんの分子病態の解明と新規治療標的分子の探索

#### がん標的治療トランスレーショナルリサーチ分野

- 1 各種固形腫瘍に対する新規分子標的治療開発
- 2 承認済み分子標的薬における初期・獲得耐性機序の解明・克服

#### 個別化医療トランスレーショナルリサーチ分野

(選考中)



## 特許の状況

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
発 明 件 数		3	1	1	7	2
出 願 件 数		4	0	2	7	2
登 録 件 数	年 度 当 初	20	18	16	13	10
	新 規	1	2	1	0	3
	権 利 消 滅	3	4	4	3	3
	年 度 末	18	16	13	10	10
実 施 許 諾 件 数	年 度 当 初	2	3	3	4	2
	新 規	1	0	1	0	0
	満 了 ・ 解 約	0	0	0	2	0
	年 度 末	3	3	4	2	2

(注) 出願件数には外国出願、国際（PCT）出願を含む。

## 研究所欧文原著論文発表研究

(単位：編)

令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
112	94	111	116	93

## 公的研究費獲得状況

(単位：千円)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
文部科学省（日本学術振興会）補助金	金 額	111,719	89,599	65,179	140,754	126,220
	件 数	21	31	21	25	18
文部科学省（日本学術振興会）基金	金 額	46,176	67,288	86,177	90,870	80,099
	件 数	36	53	72	75	79
厚 生 労 働 省 補 助 金	金 額	4,699	10,450	8,130	13,291	1,200
	件 数	9	6	6	6	3
A M E D（日本医療研究開発機構）	金 額	140,692	200,815	246,581	289,342	260,277
	件 数	48	47	49	45	43
J S T（科学技術振興機構）	金 額	16,900	16,900	77,174	53,877	39,000
	件 数	1	2	3	3	1
国立がん研究センター研究開発費	金 額	10,470	10,470	10,610	12,000	10,670
	件 数	6	5	6	8	18
そ の 他	金 額	0	330	1,320	330	0
	件 数	0	1	1	1	0
計	金 額	330,656	395,852	495,171	600,464	517,466
	件 数	121	145	158	163	162

※年度途中退職者、前年度からの繰越金、外部機関への配分を除く

【参考：研究所分のみ】

(単位：千円)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
文部科学省（日本学術振興会）補助金	金 額	110,432	87,227	63,359	139,194	126,090
	件 数	17	26	19	23	17
文部科学省（日本学術振興会）基金	金 額	27,833	46,488	41,639	48,464	39,975
	件 数	22	32	33	37	34
厚 生 労 働 省 補 助 金	金 額	3,299	1,350	1,050	850	900
	件 数	6	3	3	2	2
A M E D（日本医療研究開発機構）	金 額	92,062	138,497	205,177	193,336	192,352
	件 数	14	17	26	23	20
J S T（科学技術振興機構）	金 額	16,900	16,900	77,174	53,877	39,000
	件 数	1	2	3	3	1
国立がん研究センター研究開発費	金 額	4,400	4,100	4,500	3,000	3,500
	件 数	4	4	5	5	7
そ の 他	金 額	0	330	1,320	330	0
	件 数	0	1	1	1	0
計	金 額	254,926	294,892	394,219	439,051	401,817
	件 数	64	85	90	94	81

※年度途中退職者、前年度からの繰越金、外部機関への配分を除く

# 類似病院との比較

項 目	愛知県	順 位	静岡県	兵庫県	宮城県	埼玉県	神奈川県	大阪府	
	がんセンター		静岡がんセンター	がんセンター	がんセンター (独立行政法人)	がんセンター (独立行政法人)	がんセンター (独立行政法人)	国際がんセンター (独立行政法人)	
事業開始年月	S39.12.1		H14.6.24	S59.5.22	S42.4.1	S50.11.1	S38.4.15	S34.9.15	
病床数	500	3	615	360	383	503	415	500	
※ 稼働状況	病床利用率 (%)	59.9	7	88.6	69.1	66.0	66.4	75.1	82.1
	平均在院日数 (日)	10.9	3	11.8	11.5	15.1	13.1	10.0	8.1
	1日平均外来患者数 (人)	589	6	1,431	683	348	882	1,081	1,295
※ 収益状況	入院患者1人1日 当たり診療収入 (円)	76,174	4	75,831	75,731	62,353	76,725	87,161	97,986
	外来患者1人1日 当たり診療収入 (円)	63,488	1	50,886	56,664	45,969	39,422	45,161	37,395
※ 繰入金の状況	1病床当たり 一般会計繰入金額 (千円)	6,792	5	11,042	4,035	5,230	7,279	5,148	3,020
	一般会計繰入金 対経常収益 (%)	14.7	4	16.1	7.8	16.0	15.4	8.2	4.9
※ 経営状況	経常収支比率 (%)	96.8	7	99.3	99.8	99.3	100.0	98.6	97.9
	医業収支比率 (%)	87.4	7	87.9	94.2	99.2	105.4	98.7	102.6
	修正医業収支比率 (%)	82.9	7	87.5	94.2	83.6	89.4	91.0	97.5
	職員給与費対医業収益 (%)	45.1	7	43.5	40.8	41.7	37.9	33.3	33.9
	病床1床当たり実質損益 (千円)	△ 8,976	6	△ 11,655	△ 4,120	△ 5,463	△ 7,348	△ 6,040	△ 4,250
	病床1床当たり 純利益 (△) 純損失 (千円)	△ 2,184	7	△ 613	△ 85	△ 232	△ 69	△ 893	△ 1,230
	病床1床当たり 概算キャッシュフロー発生額 (千円)	515	7	2,471	2,412	2,401	3,510	3,125	3,858

注1 数値は「令和4年度地方公営企業決算の状況」から報告値を愛知県が独自に集計・分析したのから転記。

注2 「繰入金の状況」、「経営状況」は、研究所に係る数値を含む。

注3 指標の算式は次による。

・修正医業収支比率：(医業収益－医業収益中の他会計繰入金) / 医業費用 × 100

・病床1床当たり実質損益：(純利益・(△) 純損失－他会計繰入金) / 許可病床数

・病床1床当たり概算キャッシュフロー：(純利益・(△) 純損失 + 減価償却費 + 資産減耗費 + 長期前払消費税償却) / 許可病床数

注4 左枠外に※印のある項目は、数値が小さい順となっている。

注5 分析の詳細は、愛知県病院事業庁のホームページの「事業報告」をご参照下さい。

## 外来診療案内

(令和6年4月1日現在)

- ◆ 受付時間 午前8時30分（自動再来受付機は午前8時）から午前11時30分（予約の場合は午後5時）まで
- ◆ 診療日 (土曜・日曜・祝日・年末年始は休診)

診療科	診療内容	診察日
消化器内科	消化器疾患	月～金
呼吸器内科	呼吸器疾患	月～金
循環器科	循環器疾患	月・火・木
血液・細胞療法科	造血器・その他	月～金
薬物療法科	固形腫瘍・肉腫・その他	月～金
頭頸部外科	口腔・耳鼻咽喉・甲状腺	月～金
形成外科	形態治療・機能再建	月～木
呼吸器外科	肺・縦隔疾患	月～金
乳腺科	乳腺疾患	月～金
消化器外科	消化器系統・食道疾患	月～金
整形外科	整形外科疾患	月～水・金
脳神経外科	脳神経疾患	月・水～金
泌尿器科	泌尿器疾患	月・水～金
婦人科	婦人科疾患	月～金
皮膚科	皮膚疾患	火～木
眼科	眼科疾患	火(午前)・金(午後)
放射線診断・IVR科	放射線診断・IVR・肝腫瘍	月～金
放射線治療科	放射線治療・その他	月～金
精神腫瘍科	病態に応じた症状緩和・治療	月～金 (予約制)
緩和ケア科	緩和ケア	病態に応じた症状緩和・治療 月～金 (予約制)
	ペインクリニック	病態に応じた症状緩和・治療 水 (予約制)
	リンパ浮腫	病態に応じた症状緩和・治療 火・木 (予約制)
ゲノム医療センター	遺伝カウンセリング外来	遺伝カウンセリング・遺伝学的検査の提供 月～金 (予約制)
	がんゲノム外来	がん遺伝子パネル検査の提供 月～木 (予約制)

- ※1 遺伝カウンセリング外来及びがんゲノム外来は、自費診療の場合があります。
- ※2 セカンドオピニオン外来は、全科で対応しています（完全予約制・自費診療）。

## 入院案内

(令和6年4月1日現在)

### ◆ 入院の申込み

- 1 入院希望の方は、すべて外来患者として診察を受け、医師の指示により入院の申込みをしてください。
  - 2 入院の申込みは、本人又は代理人の方が身元の確実な保証人及び連帯保証人を引受人としてお選びになり、所定の様式「入院申込書」「入院誓約書」に記入して病棟1階入退院受付へ提出してください。
  - 3 特別室（個室）に入院希望の方は、その旨を係員に申し出てください。
- なお、特別室（個室）を利用される方は、下表のとおり室料が必要となります。

区 分	A室	B室	C室	D室
室 料（1日につき）	33,000円	17,600円	12,650円	7,330円

(税込)

### ◆ 面 会

完全予約制です。予約は原則、患者さんからのお申し出でお受けします。前日（前日が祝休日の場合は、一営業日前）に、病棟看護師にお申し出ください。ご予約いただいている場合でも、市中・院内の感染状況により禁止となる場合がございます。ご理解いただけますよう、よろしく願いいたします。

#### 【面会時間等】

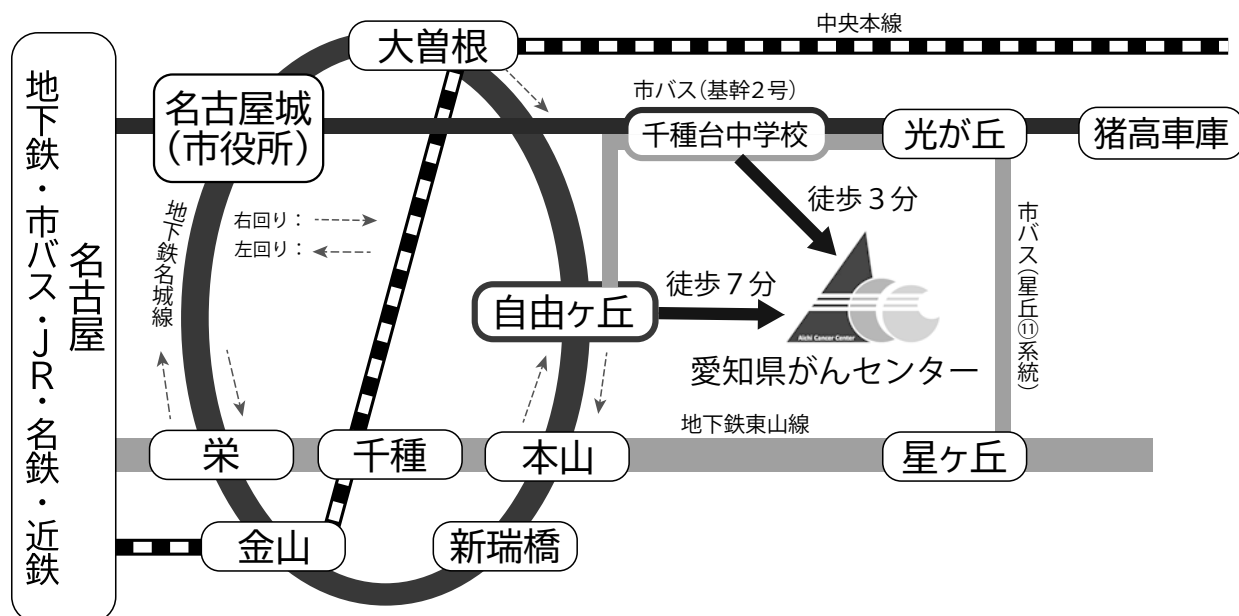
平日・土日祝日 14時～16時

- ・ 1病棟1日8組程度となっております。
- ・ 1回の面会時間は15分以内でお願いします。
- ・ お互い不織布マスク着用の上でお願いします。面会時の飲食は禁止します。
- ・ 面会は近親者のみで、1日人数の上限を超えての交代面会はできません。
- ・ 小学生以下のお子さまの面会は原則お断りしています。どうしても必要な場合は、あらかじめ病棟にご相談ください。

#### 【面会場所】

病棟の面談室・デイルーム \*アトリウムなど病棟外での面会はしないようご協力ください

# 交通案内



## 地下鉄利用 「自由ヶ丘」 2番出口から徒歩7分

- 名古屋・栄から【所要時間：名古屋から約30分】  
東山線「藤が丘」行き乗車、「本山」乗り換え、名城線「左回り」に乗車、「自由ヶ丘」下車
- 大曽根・栄から【所要時間：大曽根から約20分】  
名城線「右回り」行き乗車、「自由ヶ丘」下車
- 金山から【所要時間：金山から35分】  
名城線に乗車、「自由ヶ丘」下車

## 市バス利用 「千種台中学校」 から徒歩3分

- 名古屋駅から【所要時間：名古屋駅から約40分】  
基幹2系統「猪高車庫」行き乗車、「千種台中学校」下車
- 星ヶ丘から【所要時間：星ヶ丘から約20分】  
星丘①系統「地下鉄自由ヶ丘」行き乗車、「千種台中学校」下車

## 自家用車利用 本山交差点から北へ7分、平和公園の北西

- 東名高速道路「名古屋IC」から西へ約15分  
名古屋ICより、名古屋長久手線(60号線)を西(星ヶ丘方面)へ2,600m進み、「打越」交差点を右折、1,600m先の「猪高車庫前」交差点を左折、1,000m先の「希望ヶ丘4」交差点を左折、300m先の左側
- 名古屋高速道路「四谷出口」から北へ約10分  
四谷出口より800m先の「四谷通3」交差点を左折、北へ1,500m進み「猫洞通2」交差点を左折、1,300m先の「自由ヶ丘3」交差点を右折、400m先の右側

建物及び医療機器の一部について、年金積立金還元融資により整備しています。

愛知県がんセンター概要

令和6年度

令和6年6月発行

発行所 愛知県がんセンター  
名古屋市千種区鹿子殿1番1号  
電話 052-762-6111 (〒464-8681)  
<https://cancer-c.pref.aichi.jp>

印刷 株式会社カミヤマ  
名古屋市西区那古野1丁目21番14号(〒451-0042)  
電話 052-565-1118 FAX 052-565-1054



愛知県がんセンター  
Aichi Cancer Center